

# 清須市緑の基本計画

## 第1回策定委員会

平成22年7月21日

（五条川）





# 計画策定の背景

清洲町緑の基本計画

新川町緑の基本計画

西枇杷島町緑の基本計画

春日町緑の基本計画

(平成6年度作成)

- ・ 4町合併
- ・ 緑地に関する法制度の見直し
- ・ 都市計画マスタープランの見直し



**清須市**  
**緑の基本計画**



# 計画の位置づけ

**「清須市緑の基本計画」は  
都市の緑に関する総合的な計画です。**

清須市第1次総合計画  
(平成19年3月策定)

即す

清須市緑の基本計画

清須市都市計画マスタープラン  
(平成21年3月策定)

適合

(都市の緑に関する総合的な計画)

連携

愛知県広域緑地計画  
清須市地域防災計画



# 清須市の現況

位置・地勢・気象など

面積：1,732ha

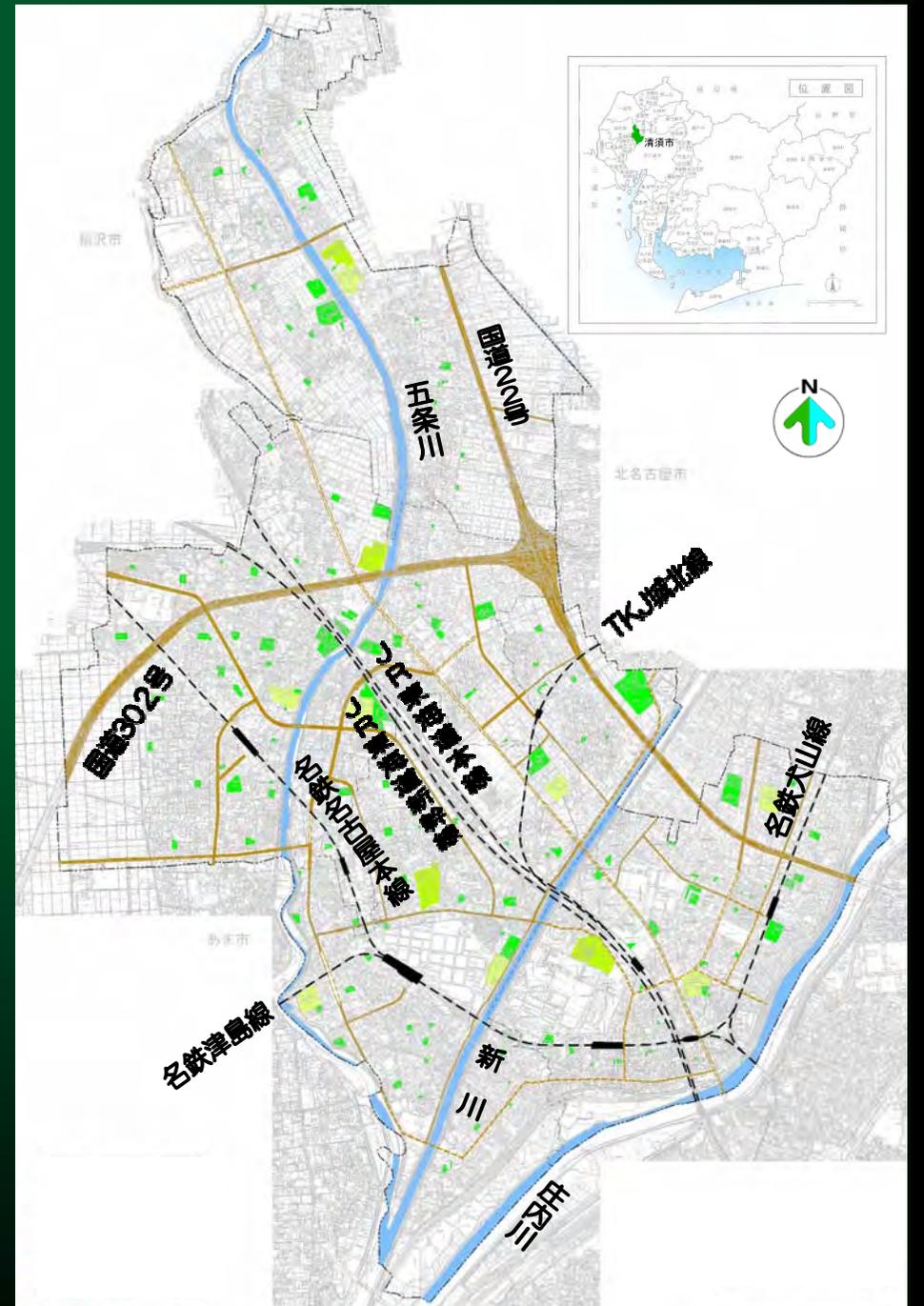
東西約5.5km

南北約8.0km

年平均気温：16℃程度

年間降水量：1,500mm

程度



# 清須市の現況

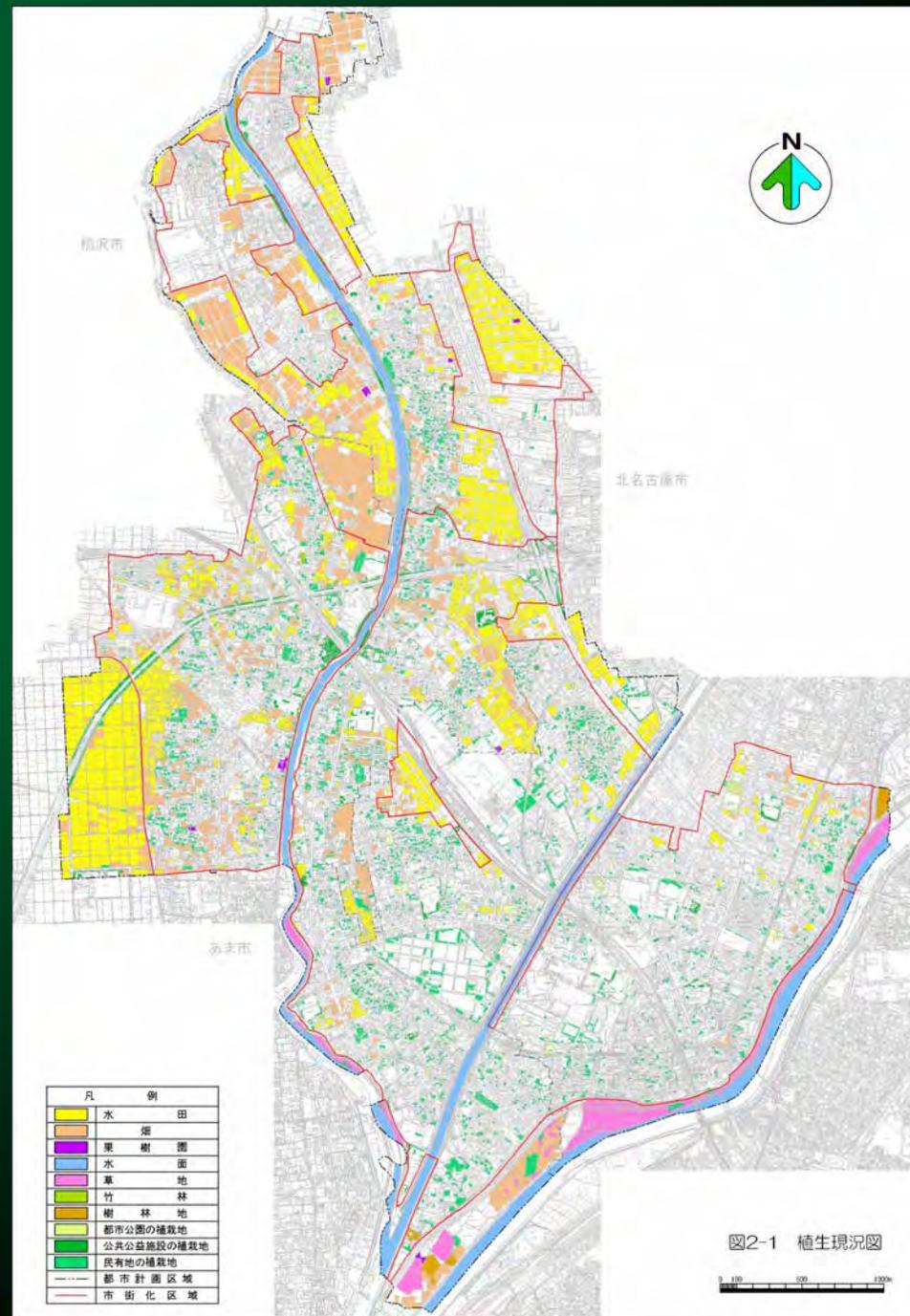
## 植生状況

まとまった樹林地が少なく、田畑が中心の緑

清須市の植生現況

(単位:ha)

区 分	市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域
	(1)	(2)	(1)+(2)
竹 林 地	0.3	0.0	0.3
樹 林 地	0.0	4.7	4.7
水 田	55.8	114.5	170.3
畑	59.4	75.1	134.5
果 樹 園	0.5	0.7	1.2
水 面	7.8	56.1	63.9
草 地	0.0	27.4	27.4
都市公園の植栽地	13.1	0.5	13.6
公共公益施設の植栽地	6.6	3.6	10.2
民有地の植栽地	43.3	6.0	49.3
合 計	186.8	288.6	475.4





# 清須市の現況

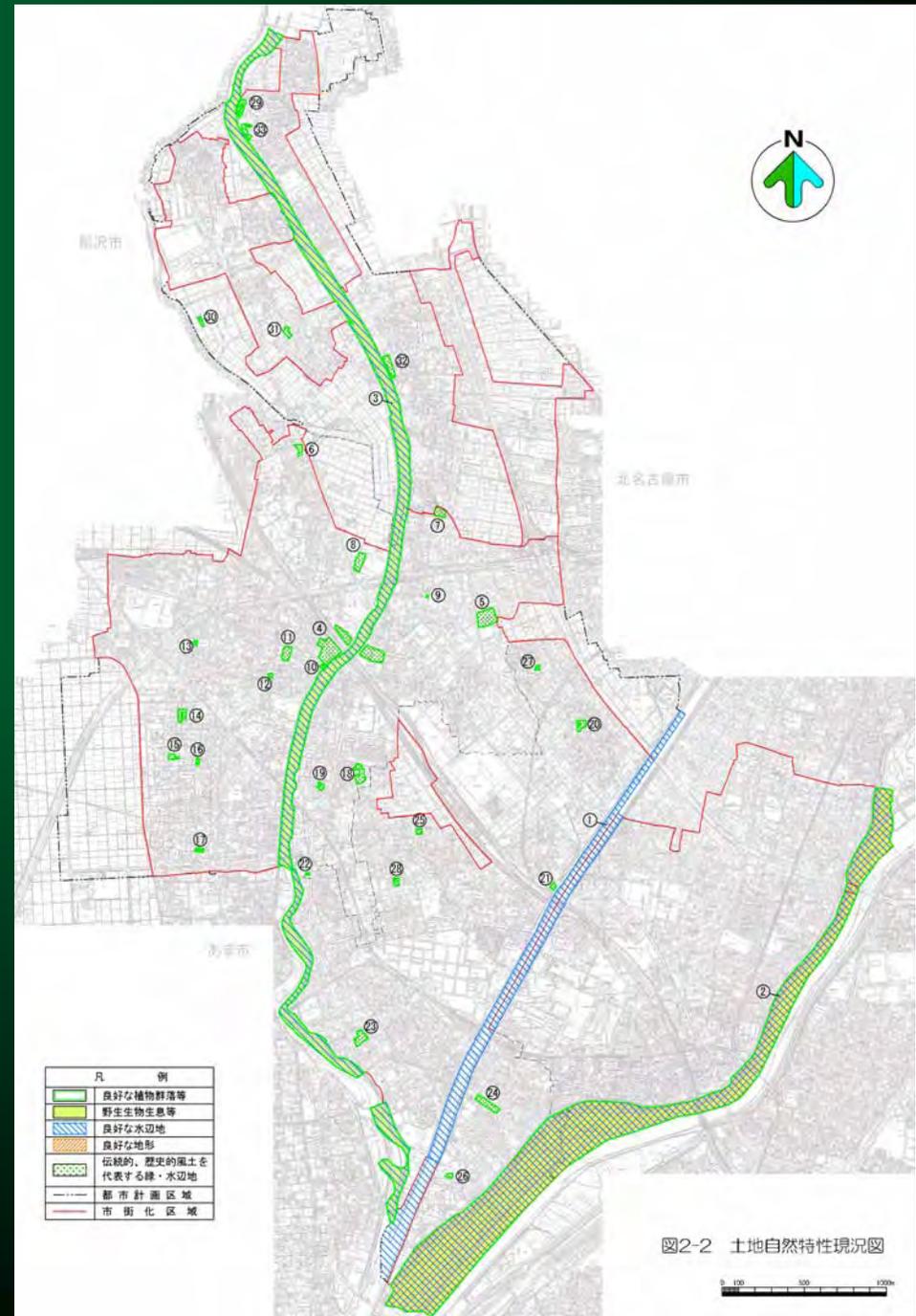
## 動物相

市域全体では住民の生活に近いところで生息する種が中心

## 土地自然特性

農耕地の広がりはあるが、規模の大きな樹林地はない。

伝統的、歴史的風土を有する社寺林が点在している。



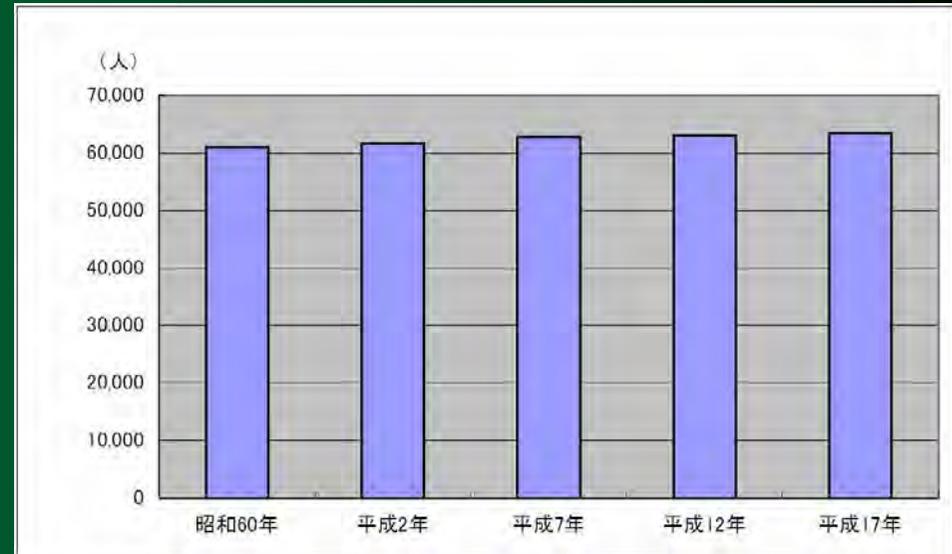


## 清須市の現況

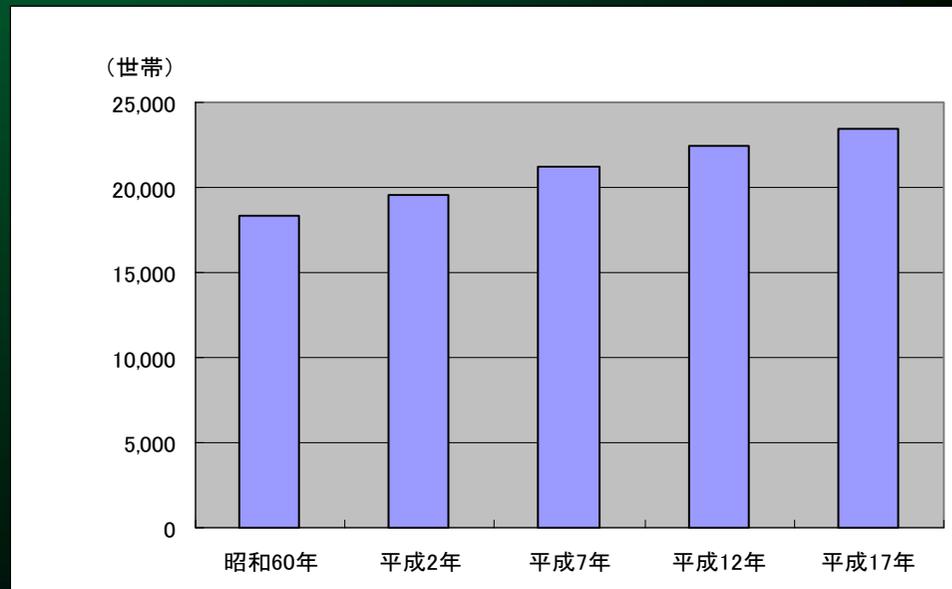
### 人口動向

昭和60年以降増加傾向が続いているが、増加率は低くなっている。

世帯数の増加率は人口増加率よりも大きく、核家族化の傾向にある。



人口の推移



世帯数の推移



# 清須市の現況

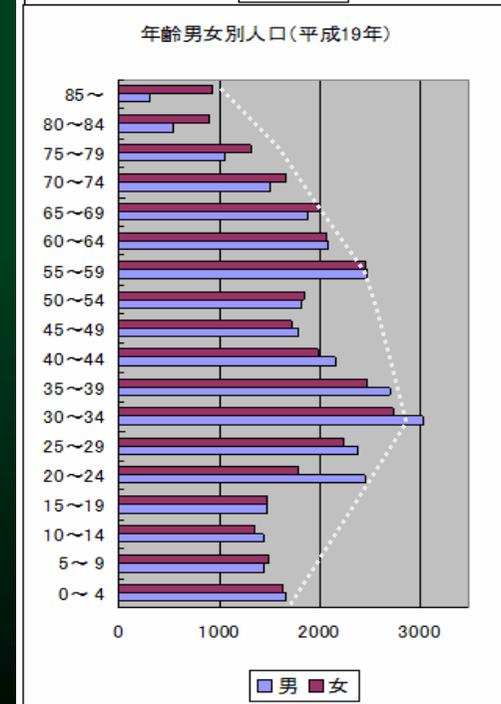
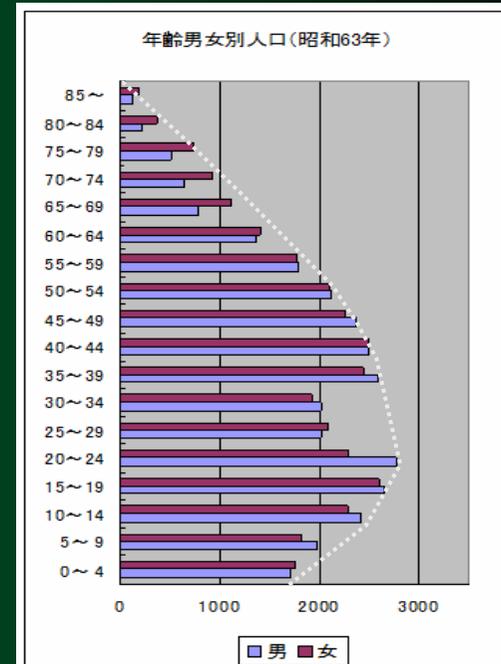
## 年齢・男女別人口の推移

昭和63年：壺型



平成19年：筒型

※高齢化の進行  
(特に女性の高齢者の増加)

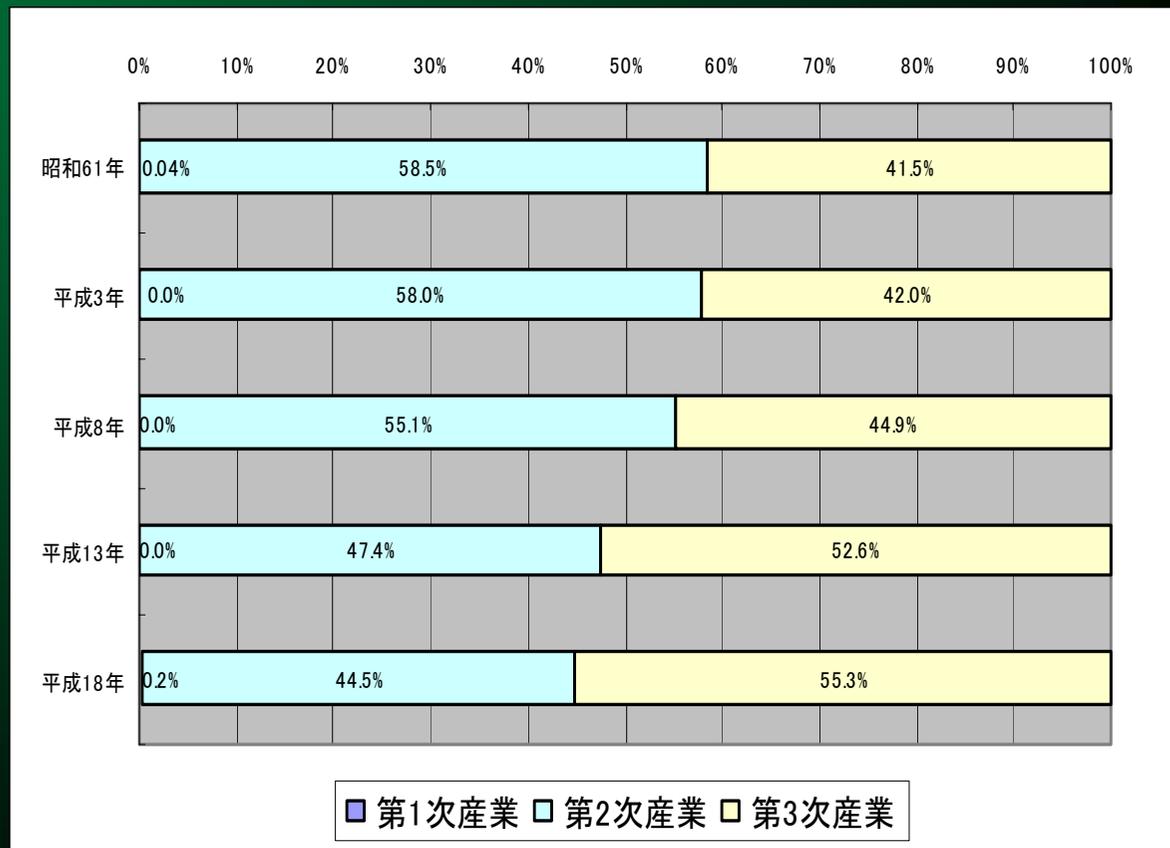




# 清須市の現況

## 産業別人口

大半が第2次産業と第3次産業の従事者



産業別就業者人口の割合



# 清須市の現況

## 土地利用現況

宅地：約45%

農用地：約20%

道路：約20%

森林：なし

※宅地の約54%：住宅地

農地の約52%：畑

※農地から宅地への土地  
利用が進んでいる。

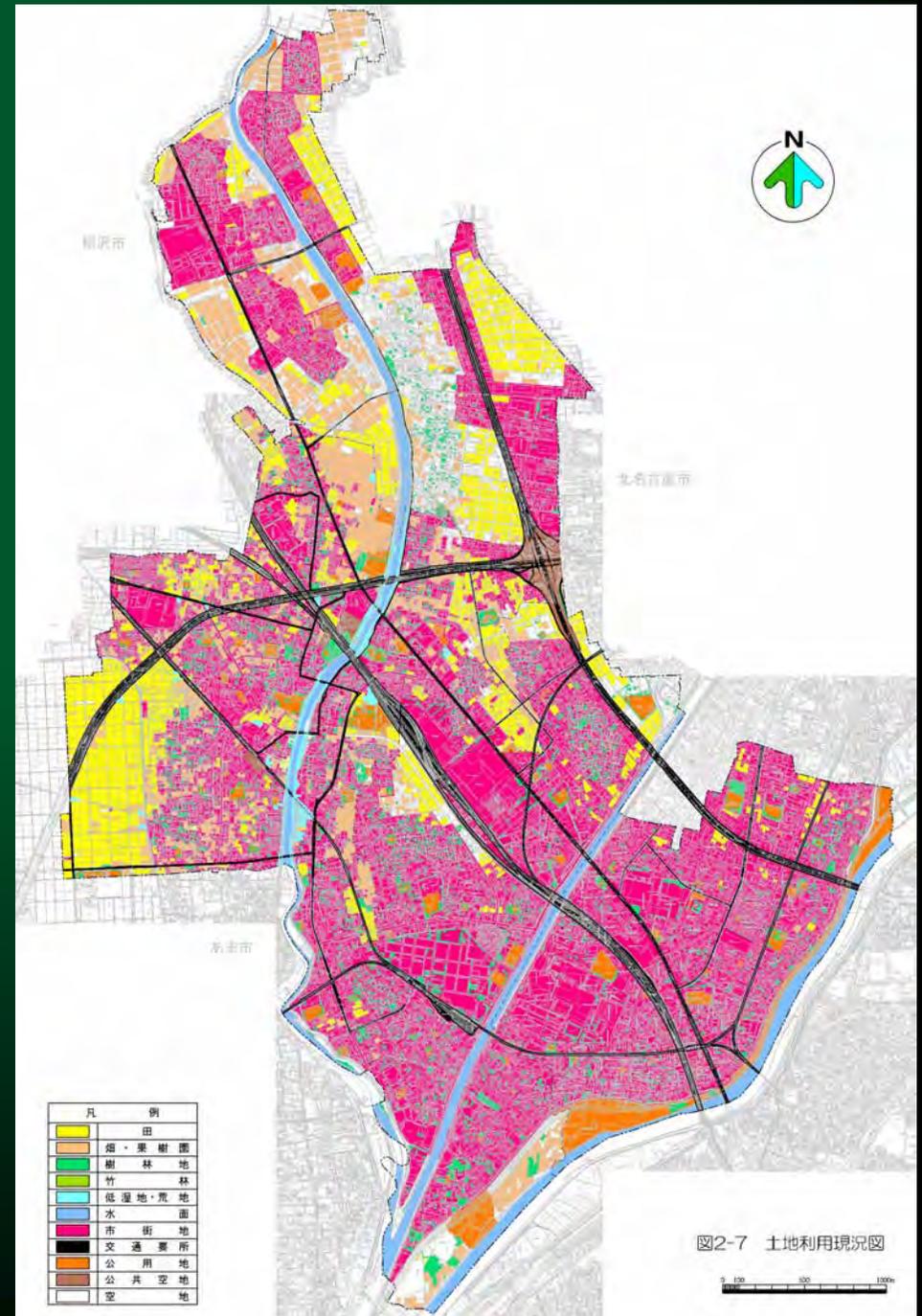


図2-7 土地利用現況図

0 500 1000



# 清須市の現況

## 緑地現況

### まとまった緑地

- ・ 庄内川、新川、五条川
- ・ 市街化調整区域の農用地

### 施設緑地

- ・ 住区基幹公園、児童遊園、  
学校グラウンド等の公共施設  
緑地、社寺林等の民間施設  
緑地

### その他の緑地

- ・ 幹線道路の街路樹や生産  
緑地等

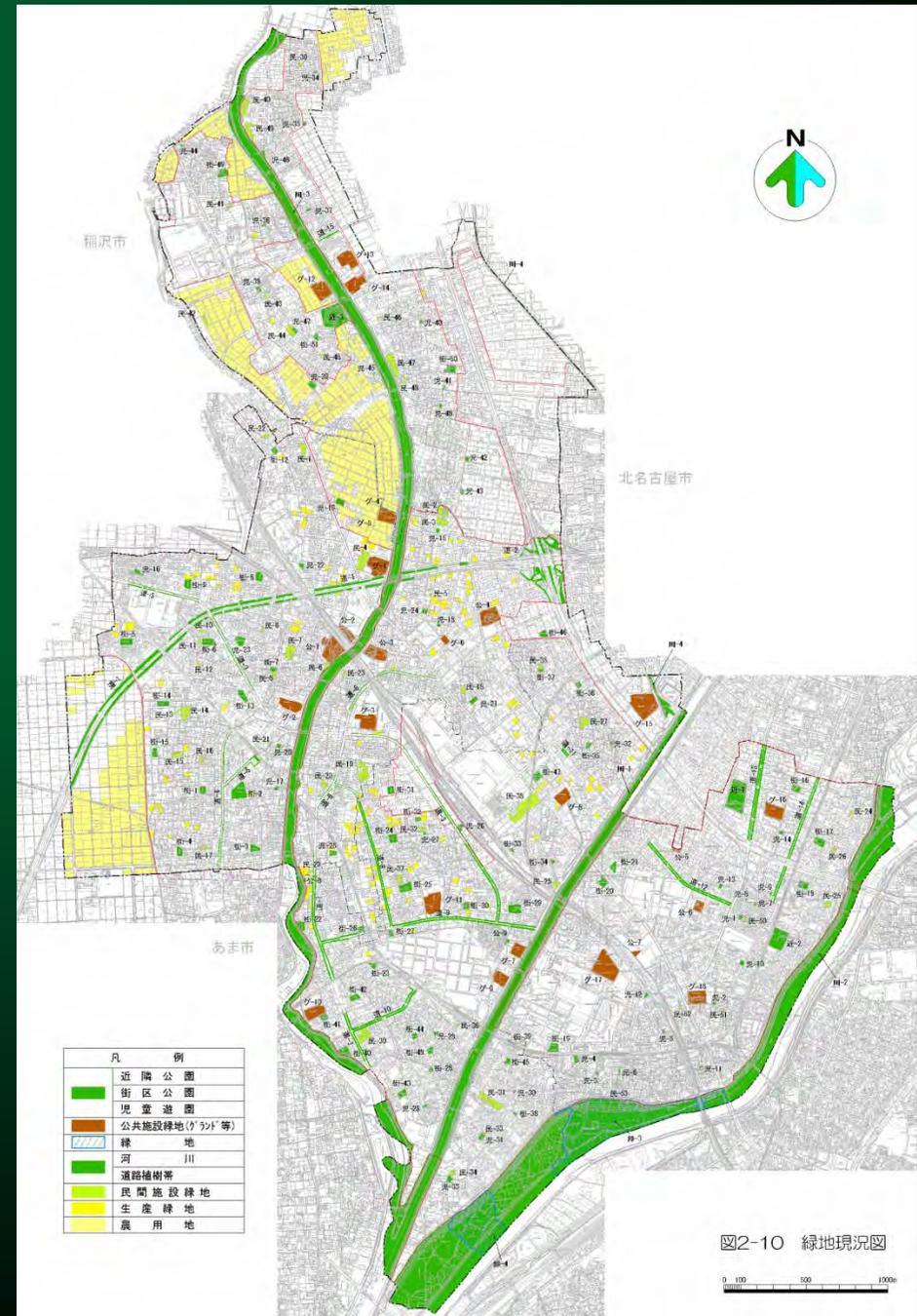


図2-10 緑地現況図

0 100 200m



# 清須市の現況

## 緑被状況

市域全体の緑被率：34.9%

樹林地の占める割合：4.3%

	区域面積	樹林地	水田・畑等の農地、 草地及び水面	緑被率	樹木の占める 割合
市街化区域	1,261 ha	60.90 ha	216.60 ha	22.0%	4.8%
市街化調整区域	471 ha	13.50 ha	314.30 ha	69.6%	2.9%
都市計画区域	1,732 ha	74.40 ha	530.90 ha	34.9%	4.3%

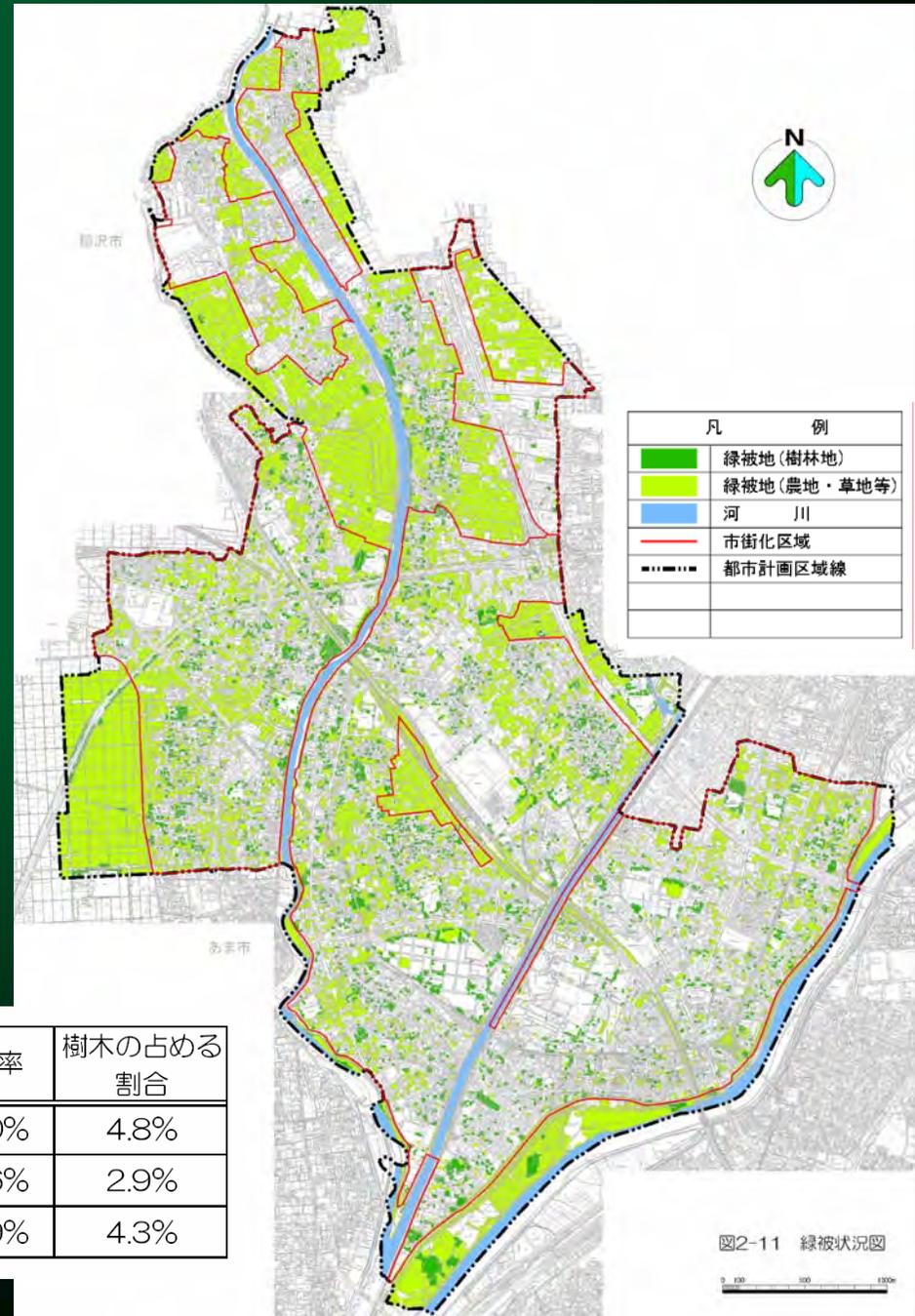


図2-11 緑被状況図

0 500 1000 1500

# 清須市の景観

<JR枇杷島駅>



<乾角公園>



<八幡神社 (下河原)>



<貝殻山貝塚>

<五条川>



<美濃路街道>



例
市公園
公共施設
開施設
調査ルート
写真番号



# 市民意向調査の結果

## 回答者の属性

- ①居住地区：「清洲小学校区」の18.9%、「西枇杷島小学校区」の17.8%が高い割合となっており、市の中部に位置する「星の宮小学校区」と「桃栄小学校区」の比率が低くなっています。学区内人口に対する回答者数割合は2%前後となっており、市内全域からほぼ均等に回収されています。
- ②性別：「女」が56.1%と、「男」の43.1%を上回っています。
- ③年齢：第1位は「60代」の21.2%で、50代以上で57%と半数以上を占めています。
- ④職業：第1位の「会社員」30.2%と第2位の「専業主婦（夫）」21.9%で半数以上を占めています。
- ⑤居住年数：第1位は「30年以上」の50.1%であり、10年以上の居住者が77%以上を占めています。



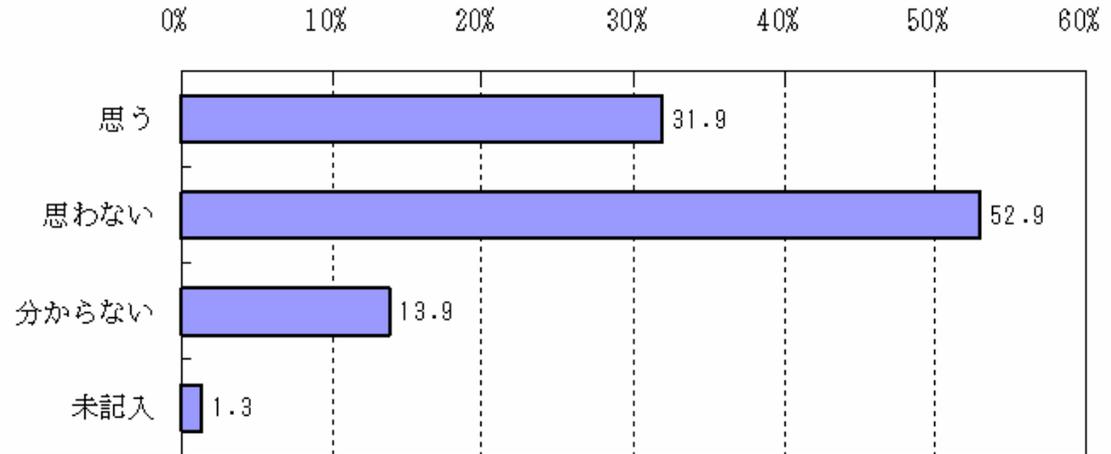
# 市民意向調査の結果

## 緑の現状認識

最も緑を多く感じる学区  
春日小学校区

最も緑を感じない学区  
西枇杷島小学校区

清須市は緑が豊かなまちと思いますか



	思う	思わない	分からない	未記入	合計
新川小学校区	24.0	62.7	11.1	2.2	100
星の宮小学校区	33.7	52.6	11.6	2.1	100
清洲東小学校区	34.3	57.1	7.9	0.7	100
桃栄小学校区	25.7	61.1	11.5	1.8	100
清洲小学校区	40.1	46.4	11.8	1.6	100
西枇杷島小学校区	19.5	64.5	15.0	1.0	100
古城小学校区	38.8	47.5	13.7	0.0	100
春日小学校区	45.3	34.6	20.1	0.0	100
未記入	23.2	49.5	24.2	3.2	100
合計	31.9	52.9	13.9	1.3	1612



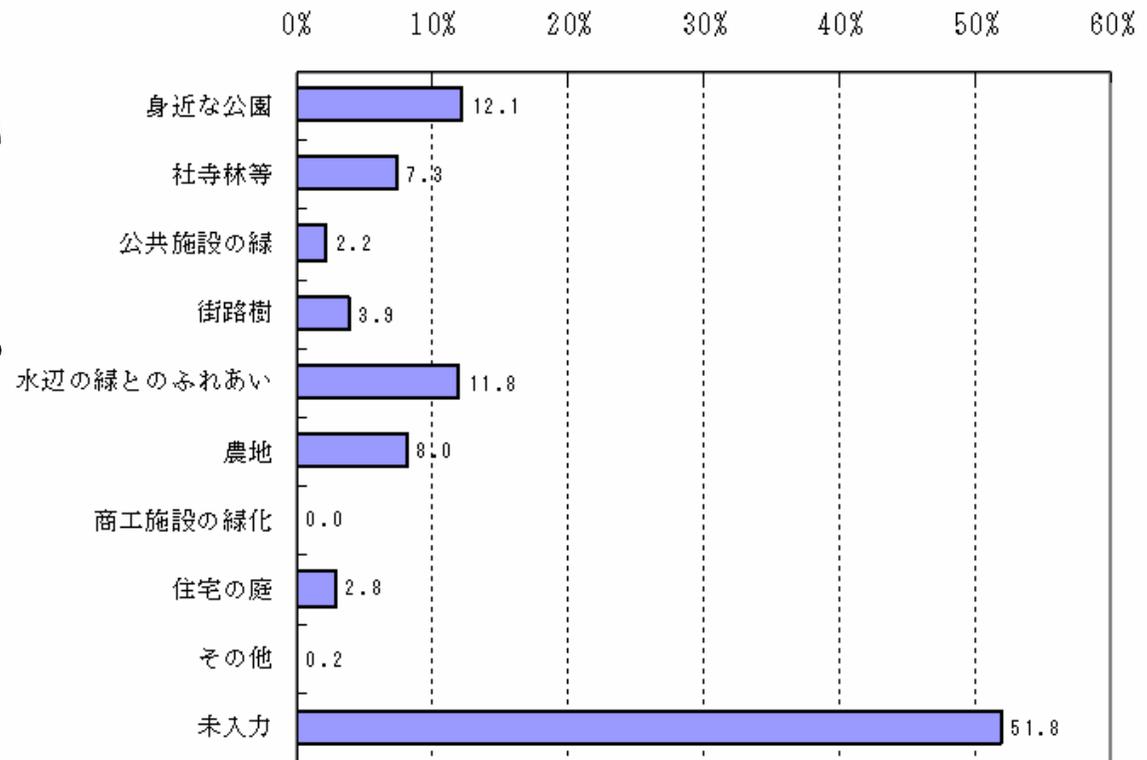
# 市民意向調査の結果

緑の現状認識

身近な緑の量が影響している

漠然とした印象での回答も多い

緑豊かと思う理由





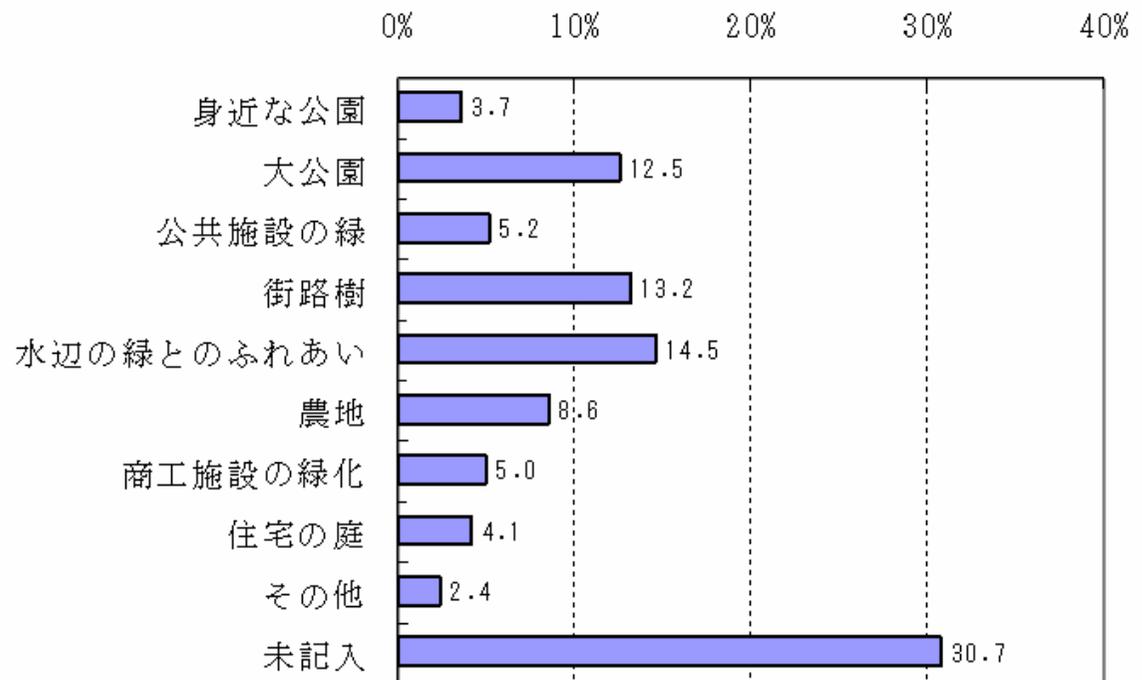
# 市民意向調査の結果

## 緑の現状認識

公園や街路樹、水辺の緑の不足

漠然とした印象での回答も多い

### 緑がない理由





# 市民意向調査の結果

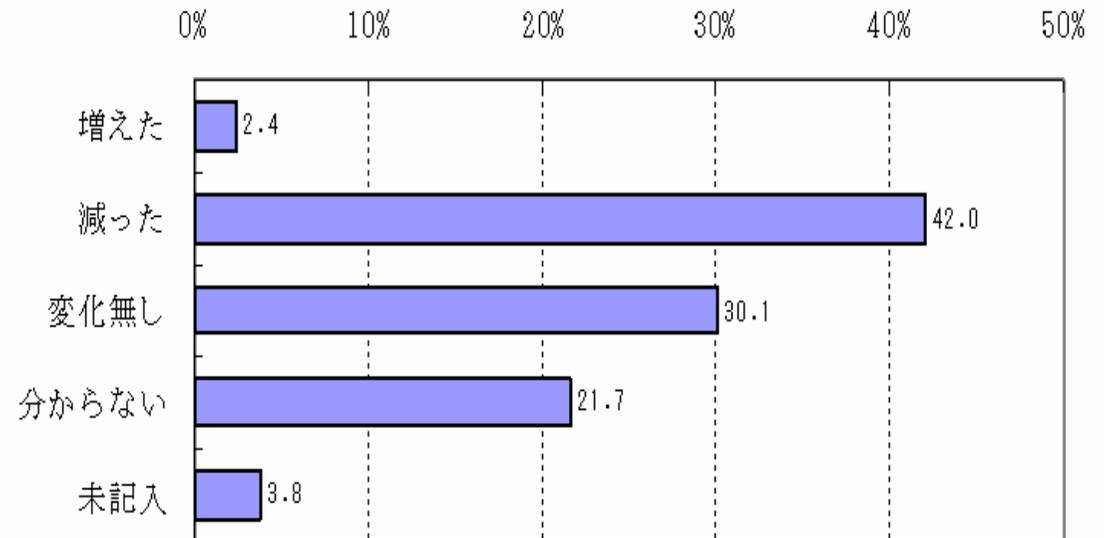
## 緑の現状認識

緑が減ったと感じている  
人が大半

## 清須市を代表する緑と水

- ① 清洲城跡一帯 649票
  - ② 五条川 473票
  - ③ 庄内川・緑地 209票
  - ④ 新川 97票
- の順

10年間の緑の量の変化



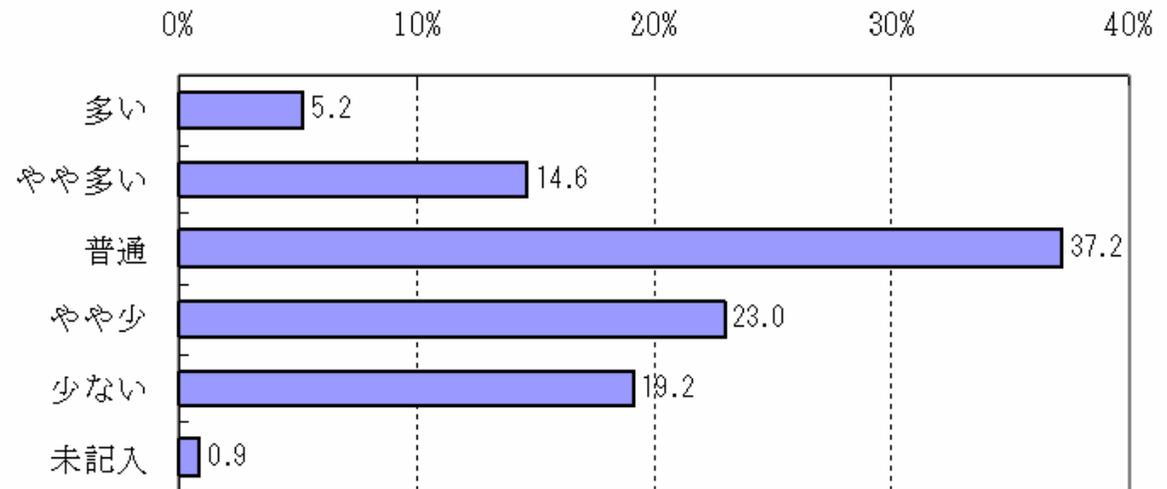


# 市民意向調査の結果

## 緑の現状認識

少ないと感じる人の割合が多い

### 住居周辺の緑の量



	多い	やや多い	普通	やや少	少ない	未記入	合計
新川小学校区	4.0	12.0	34.7	29.3	19.1	0.9	100
星の宮小学校区	2.1	23.2	30.5	23.2	20.0	1.1	100
清洲東小学校区	3.6	17.1	43.6	18.6	17.1	0.0	100
桃栄小学校区	4.4	12.4	38.1	25.7	19.5	0.0	100
清洲小学校区	4.9	16.4	37.2	23.4	16.8	1.3	100
西枇杷島小学校区	1.7	9.1	32.4	27.9	27.5	1.4	100
古城小学校区	7.9	12.9	39.6	23.7	15.1	0.7	100
春日小学校区	13.1	20.1	45.8	10.7	10.3	0.0	100
未記入	4.2	11.6	31.6	21.1	29.5	2.1	100
合計	5.2	14.6	37.2	23.0	19.2	0.9	1612

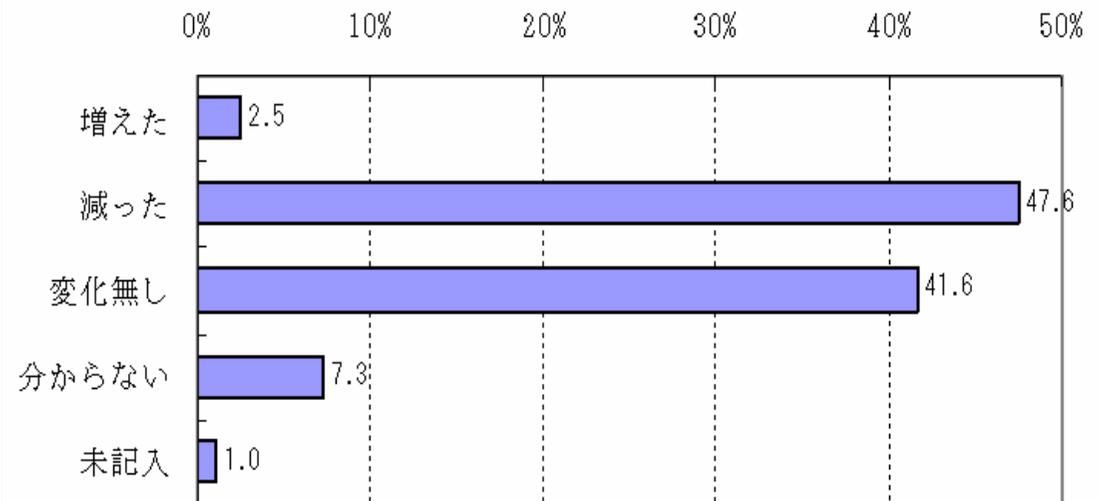


# 市民意向調査の結果

## 緑の現状認識

すべての学区で減  
る傾向にある

住居周辺の緑の変化



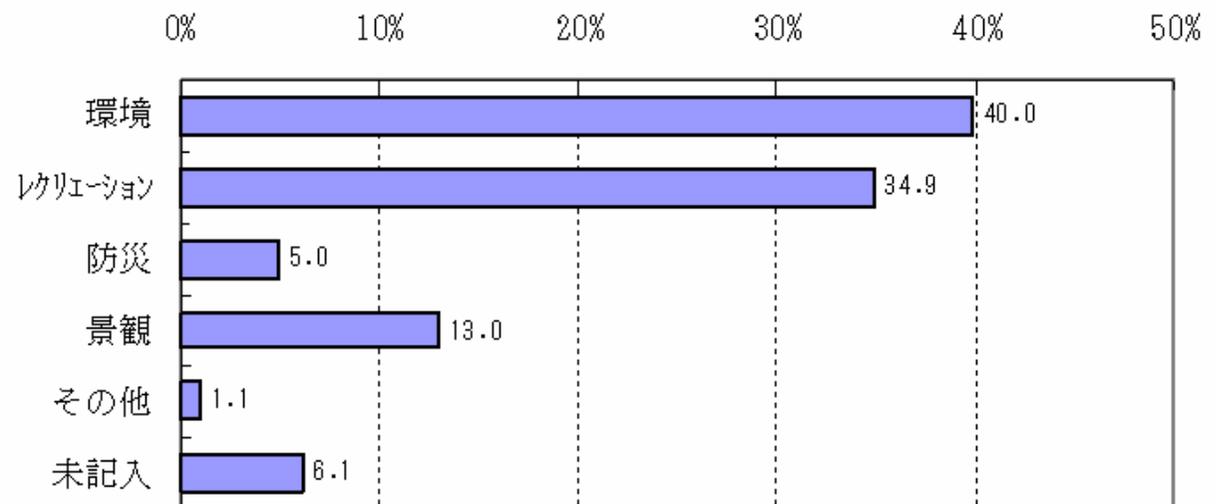


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策

環境保全、レクリエーション効果への期待が大きい

期待する緑の効果



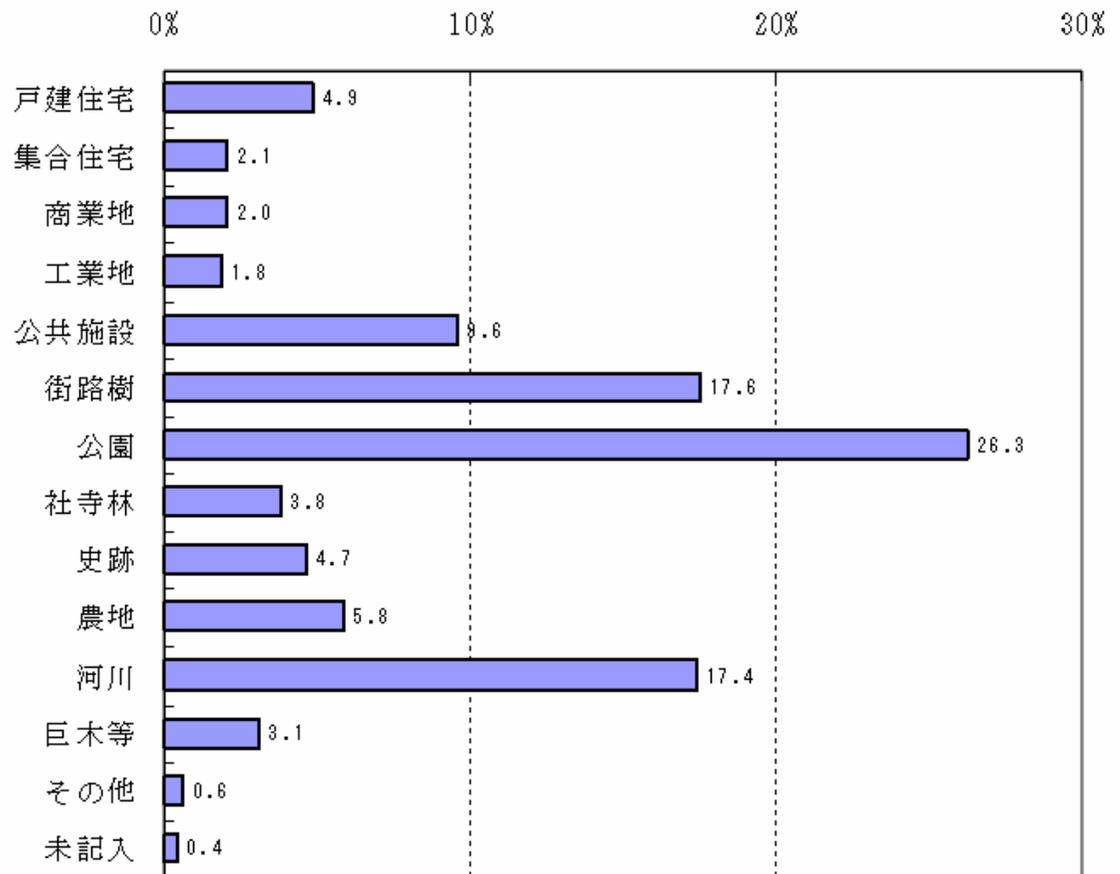


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策

公共施設としての緑に対する認識が高い

守りたい・増やしたい緑

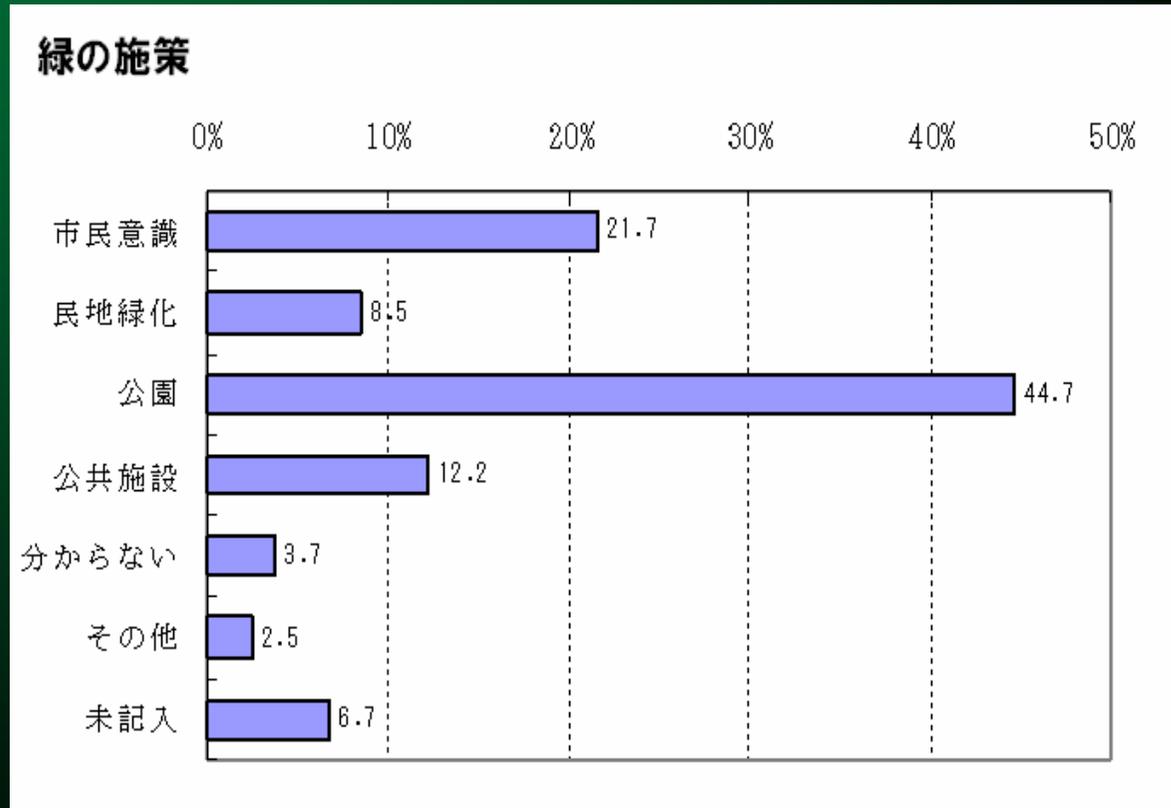




# 市民意向調査の結果

緑の環境施策

緑の施策に対する関心  
は高い



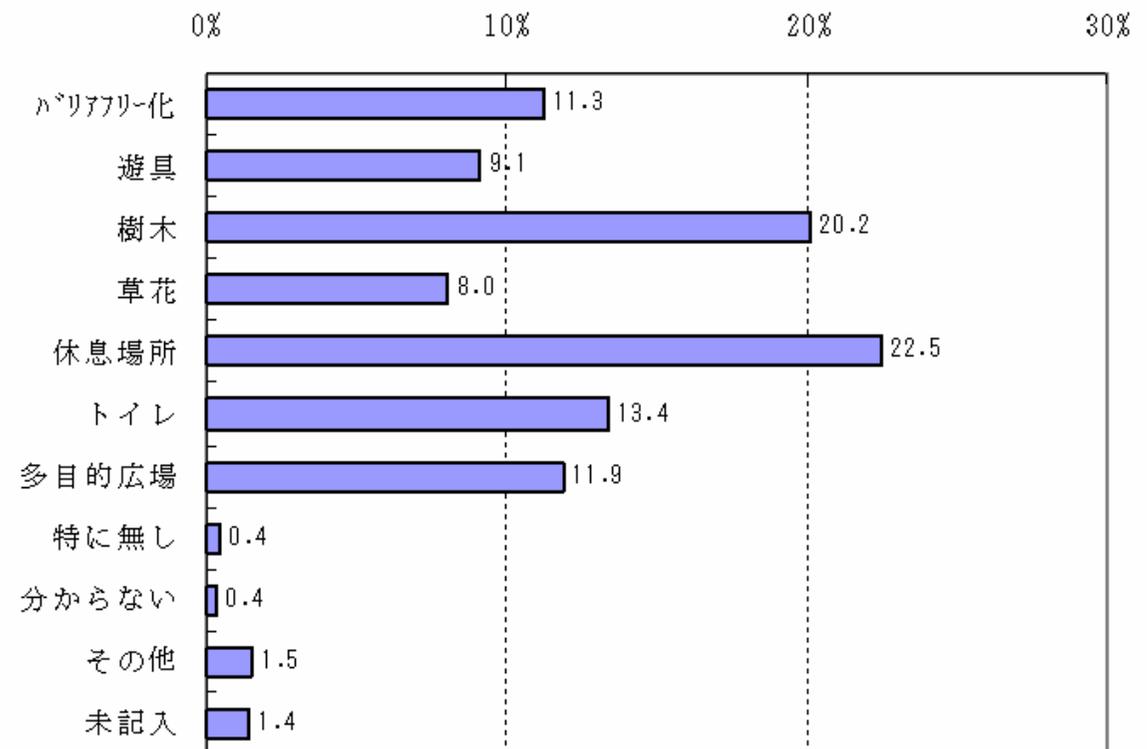


緑の環境施策

# 市民意向調査の結果

安らぎ空間としての公園需要が高い

公園の整備・維持管理の重点事項



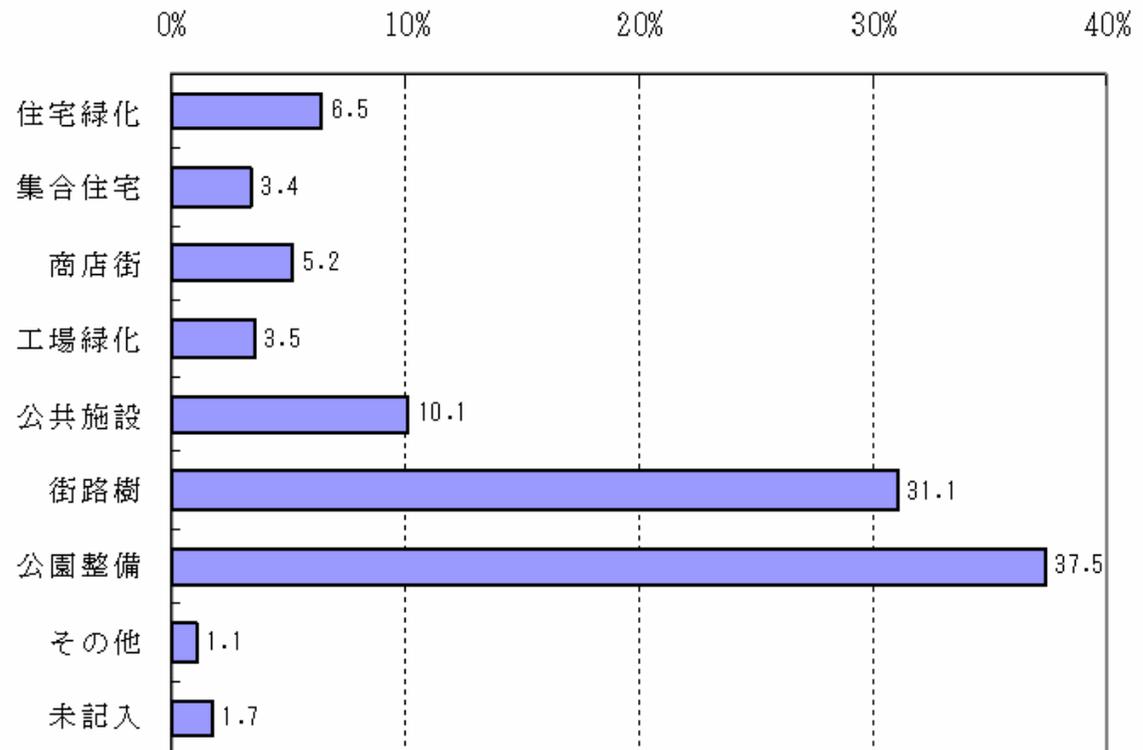


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策

公共施設の緑化要望が高い。  
一方で、民間施設での緑化は環境施策としての意識が低い。

### 緑化重点施策



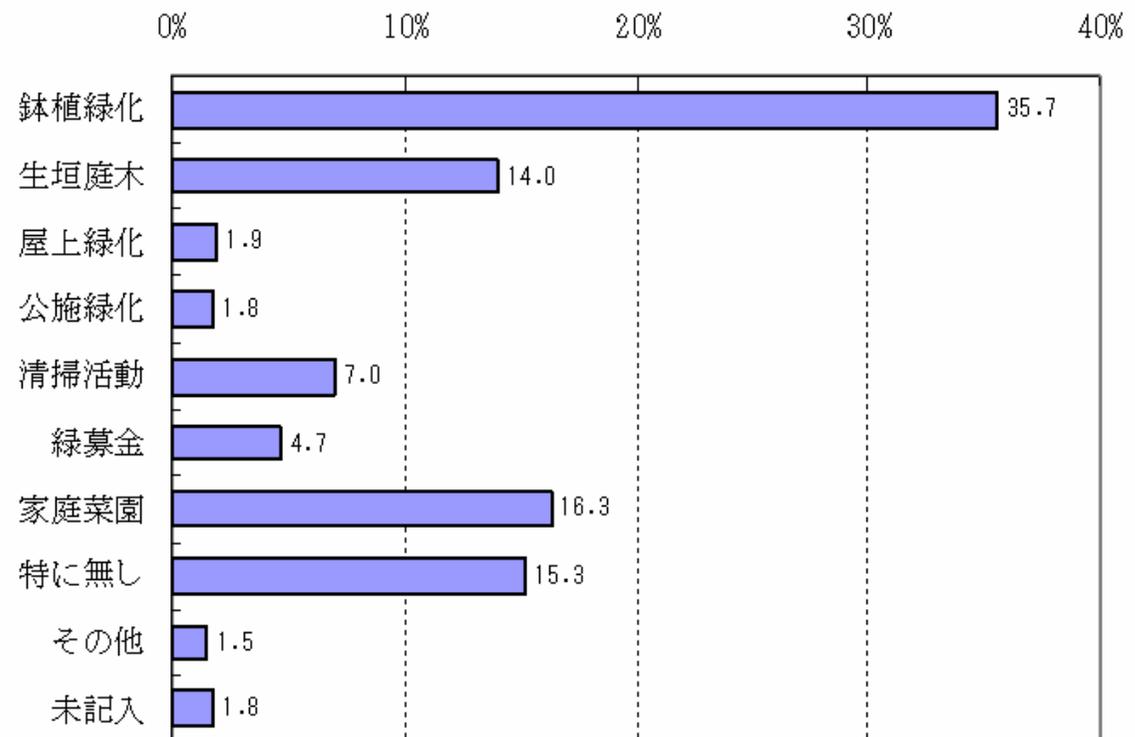


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策への参加

身近な緑を増やす努力  
は見られる。

個人の実践事項



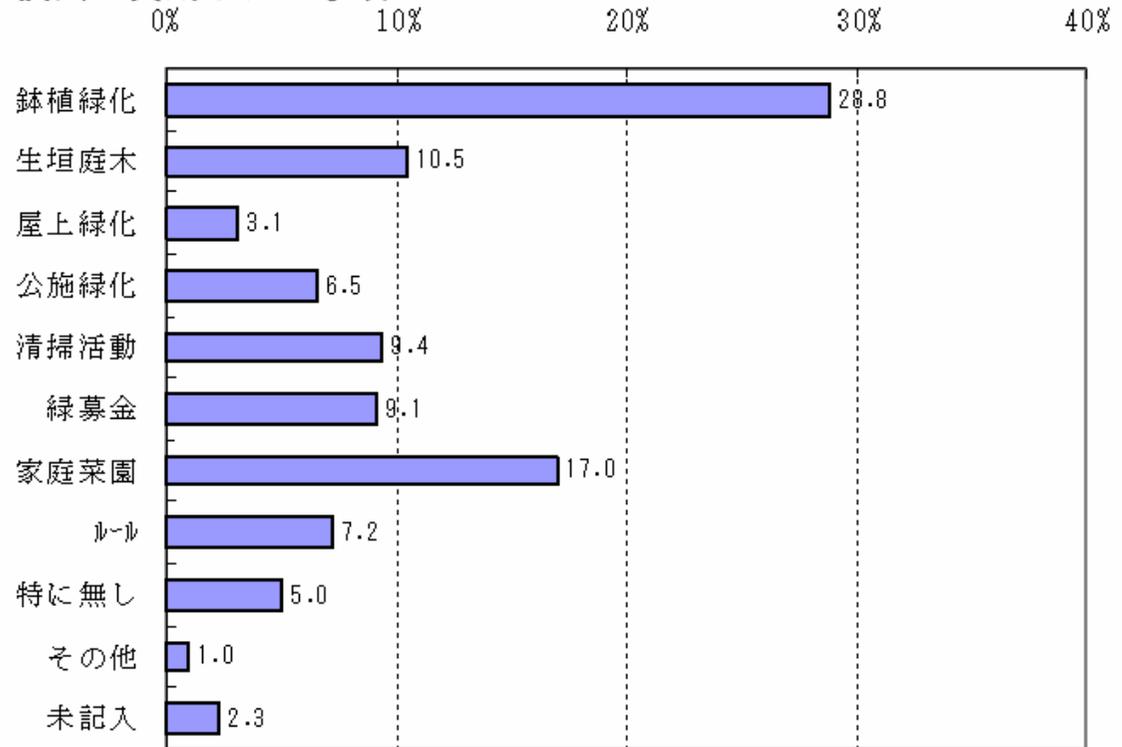


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策への参加

「緑」に関する活動に全く関心のない人は少ない。

個人の実践したい事項



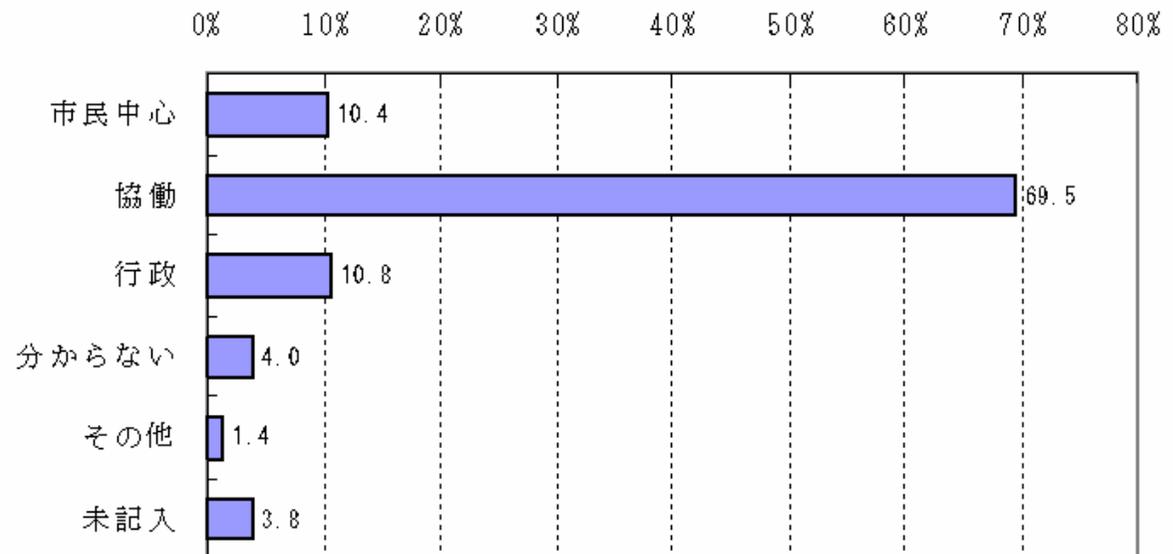


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策への参加

身近な公園の維持管理については関心が高く、市民と行政が協働で管理すべきという感覚を持っている。

公園・街路樹の管理



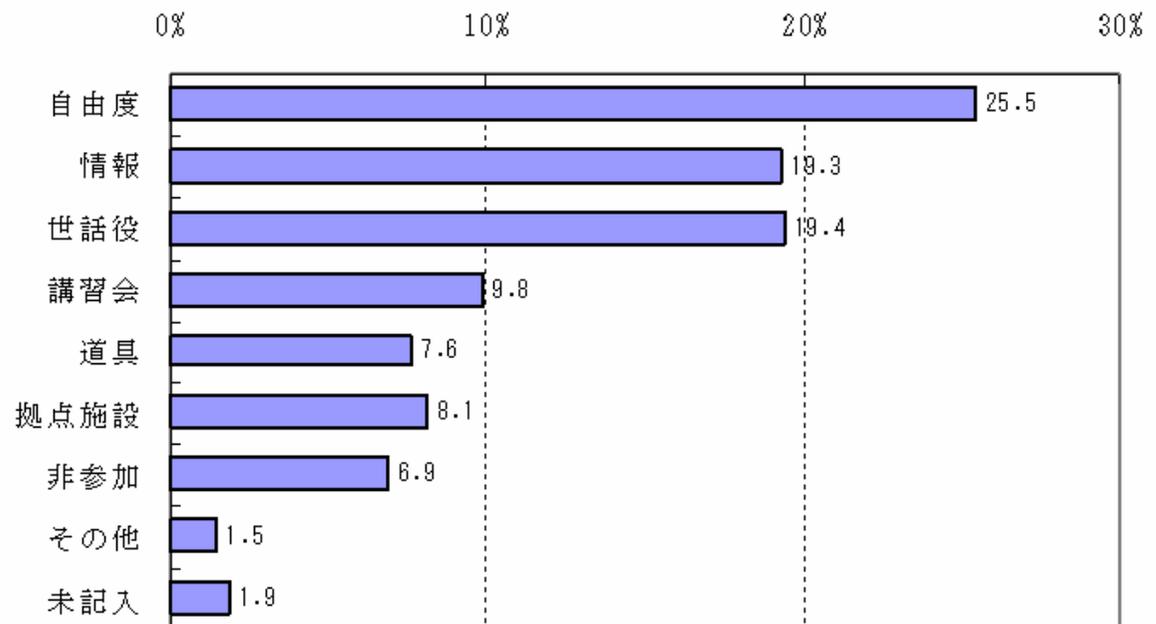


# 市民意向調査の結果

## 緑の環境施策への参加

市民が「緑」に関する活動に参加するには、行政による日頃からの情報提供、地縁団体等を通じた参加要請などが必要である。

緑化活動参加条件





# 市民意向調査の結果

## 「緑」に関する市民意識の概要

### ＝緑の現状について＝

市全域及び身近な緑共に少ないという回答が多く、また、緑が少なくなったという回答も多いことから、緑が不足しているとともに、この先も減少傾向にあることが伺える結果となりました。

市を代表する「緑と水」としては、清洲城の他、庄内川・新川・五条川の3河川が多く選ばれており、緑のネットワークを形成するための核として位置づけられます。

### ＝緑の環境施策について＝

「緑」に期待する効果として環境保全やレクリエーションとする回答が多くなっています。また、守りたい・増やしたい「緑」や市街地緑化の重点施策については、公園や緑地の「緑・緑化」に次いで、街路樹など道路の「緑・緑化」という回答が多く、緑のネットワークについての期待が表れています。

公園の整備内容については、休憩・休息場所の整備を望む回答が多くみられ、安らぎ空間としての公園需要の高いことが伺えます。

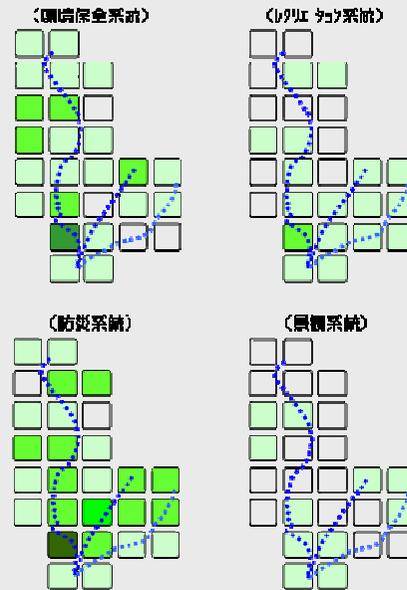
### ＝緑の環境施策への参加について＝

緑の環境施策への参加については、時間や期間を自由に選ぶことができるなどの条件が整えば参加するという回答が多く、市民と行政が協働して公園・緑地などの維持管理を行うべきであるという傾向がみられます。

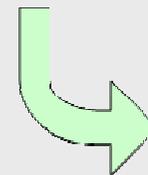
このことは、市民が参加しやすい緑化活動の仕組みを構築することが、清須市の「緑」を保全・整備するために有効であることを示唆しています。

# 調査結果の解析・評価

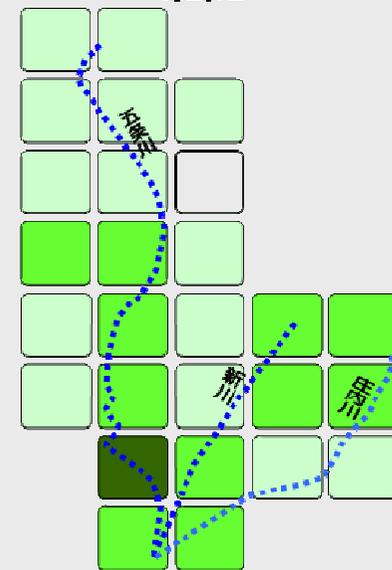
- 庄内川、新川及び五条川の3河川沿いのブロックで評価が高くなる傾向があり、これらの河川は緑地として清須市全域において緑地環境に及ぼす影響が大きいと考えられます。
- 土地区画整理事業等で整備された市街地のあるブロックでは、各系統での評価が高くなる傾向にあります。
- 美濃街道沿道のような旧来からの市街地を含むブロックでは評価が低くなる傾向にあります。
- 市の中央部南北軸で評価の低い傾向にあります。
- 市全域で景観系統の緑が少ない状況です。



- 庄内川、新川及び五条川の3河川沿いのブロックで評価が高くなる傾向があり、これらの河川は緑地として清須市全域において緑地環境に及ぼす影響が大きいと考えられます。
- 土地区画整理事業等で整備された市街地のあるブロックでは、各系統での評価が高くなる傾向にあります。
- 美濃街道沿道のような旧来からの市街地を含むブロックでは評価が低くなる傾向にあります。
- 市の中央部南北軸で評価の低い傾向にあります。
- 市全域で景観系統の緑が少ない状況です。



＝ 総合評価 ＝





# 調査結果の解析・評価（環境保全系統）

## 骨格となる緑

- ・市最南部を流れる庄内川
- ・南部市街地を北東から南西にかけて縦貫する新川
- ・北部から南部にかけて縦貫する五条川

## 優れた自然環境・歴史的風土としての緑

- ・市内に点在する社寺林等
- ・五条川沿いに存在する清洲城跡一帯
- ・史跡貝殻山貝塚

## 快適な生活環境の向上に役立つ緑

- ・街区公園や環境・景観に配慮した民間緑地
- ・道路空間の環境保全に資する街路樹
- ・市街化調整区域の一団の農地



# 調査結果の解析・評価（レクリエーション系統）

## 市を代表するようなレクリエーション・観光施設

- ・市を代表するような施設  
清洲城跡一帯の施設、五条川沿いの遊歩道、庄内川の緑地（みずとぴあ）
- ・レクリエーション機能のネットワークを形成する施設  
庄内川、新川、五条川
- ・歴史や自然とふれあうレクリエーション施設  
清洲城跡一帯、史跡貝殻山貝塚

## 手軽な運動ができるような機能を有する緑

- ・街区公園が49ヶ所開設されています。
- ・近隣公園3ヶ所、グラウンド、テニスコート・ゲートボール場等5ヶ所
- ・学校グラウンド等を夜間・休日に開放

## 児童や幼児の遊び場としての緑

- ・児童遊園



# 調査結果の解析・評価（防災系統）

## 防災計画において防災ネットワークの骨格・拠点となる緑

- ・清須市地域防災計画において一時避難場所に指定されている近隣公園や学校グラウンド等の施設
- ・庄内川、新川及び五条川（震災時や大規模火災時における防災ネットワークの骨格となる河川空地）
- ・街路樹を有する道路（防災ネットワークの骨格）

## 防災計画において防災ネットワークの拠点到準する緑

- ・街区公園やグラウンド等の空地

## 防災計画において保全を図るべきとしている緑及び大気汚染・騒音軽減に効果を持つ緑

- ・密集市街地にある児童遊園、社寺林や民有緑地
- ・都市計画道路の街路樹



## 調査結果の解析・評価（景観系統）

市街地の景観を構成する面的、線的広がりをもつ緑

- ・ 庄内川、新川及び五条川の河川景観

ランドマーク、郷土景観を創出する緑

- ・ 清洲城跡一帯、史跡貝殻山貝塚
- ・ 市街地に点在する社寺林

地区や住区の良い景観

- ・ 街区公園、近隣公園



## 調査結果の総合解析・評価

Aランク（10点以上） 4箇所  
庄内川・新川・五条川・清洲城跡一帯

Bランク（5点以上） 63箇所  
史跡貝殻山貝塚・近隣公園・街区公園 等

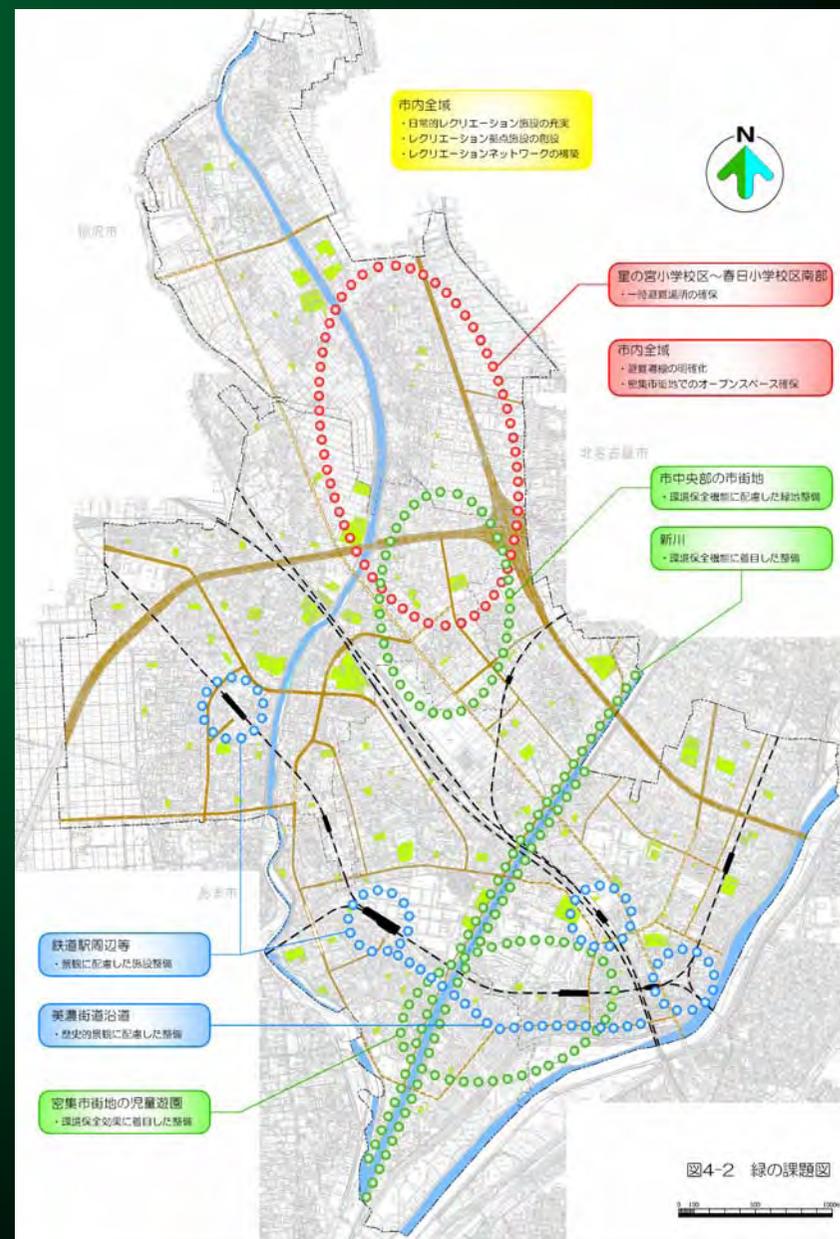
Cランク（5点未満） 115箇所  
児童遊園・社寺林 等

# 計画に向けての課題

現況の緑資源の保全と  
整備・活用

緑と水のネットワークづくり

多様な需要に対応する  
緑の環境づくり



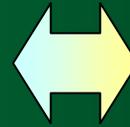


# 計画の基本方針（素案）

## 基本理念

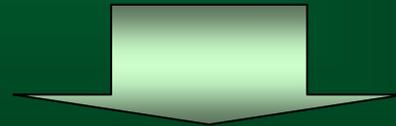
### 清須市第1次総合計画

水と歴史に織りなされた  
安心・快適な環境都市



### 清須市都市計画マスタープラン

水と歴史にはぐくまれ  
皆でつくる  
安心・快適なまち 清須



## 緑の基本計画 基本理念

水と歴史を感じ・ふれあう 緑のネットワークの創造

# ＝緑の将来像（イメージ）＝

## 【緑のネットワークの構成】

庄内川・新川・五条川  
の水辺空間

清洲城跡一帯・貝殻山  
貝塚の歴史的空間

緑を結ぶ道

行政施設・住  
宅地等の緑化  
による身近な  
緑の創出

市民参加によ  
る緑化活動、  
緑の保全活動

住区基幹公園・児童遊  
園等のふれあい空間



## ＝基本方針（素案）＝

### ○緑と水のふれあいの場づくり

庄内川、新川及び五条川を骨格とし、それぞれの河川の特徴を活かした河川整備

### ○歴史とのふれあいの場づくり

清洲城跡一帯及び貝殻山貝塚遺跡の活用

### ○身近な緑とのふれあいの場づくり

近隣公園・街区公園の充実

### ○歩行者にやさしい道づくり

緑を感じて歩く道・緑と緑を結びつける道の整備

### ○市民参加による緑化活動・緑の保全活動

緑に関する啓蒙活動・市民参加による緑化活動の仕組みづくり



## ＝計画フレームの設定（素案）＝

### 計画対象区域

計画対象区域	清須市
都市計画区域	清須市の全域 1,732ha

### 都市計画区域内人口の見通し

年次	現況 (平成20年)	目標年次 (平成30年)	長期想定年次 (平成40年)
人口(千人)	65.1	63.4	63.4 (目標年次人口)

### 市街化区域の規模

年次	現況 (平成20年)	目標年次 (平成30年)	長期想定年次 (平成40年)
人口(千人)	62.0	60.4	60.4
市街化区域面積(ha)	1,261	1,261	1,261
人口密度(人/ha)	49.17	47.90	47.90

### 地域区分（住区の構成）

西枇杷島中学校地域・清洲中学校地域・新川中学校地域・春日中学校地域



## ＝計画の目標水準の設定＝

＝都市計画中央審議会答申（平成7年7月）＝

- ・ 将来市街地面積に対して概30%以上の緑地を確保
- ・ 住民一人当たり都市公園等の面積20㎡以上を確保

＝都市公園法施行令＝

- ・ 都市計画区域内の都市公園面積：住民一人当たり10㎡以上
- ・ 市街地内の都市公園面積：住民一人当たり5㎡以上

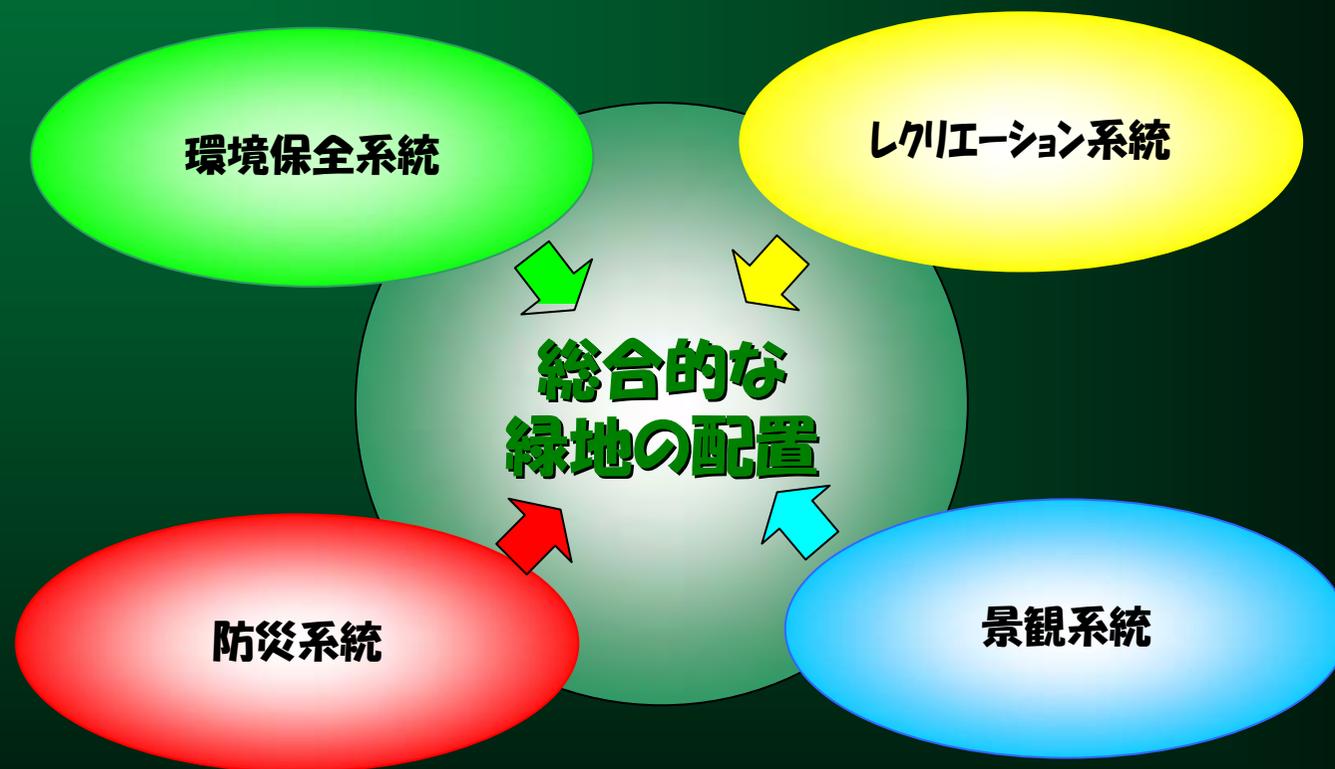
長期想定年次における 緑地確保目標量	将来市街地面積に対する 割合 (A)		都市計画区域面積に対する 割合 (B)	
	概ね	82 ha	6.5 %	概ね

### 都市公園等の施設として整備すべき緑地の目標水準

年次	現況 (平成20年) (2008年)	目標年次 (平成30年) (2018年)	長期想定年次 (平成40年) (2028年)
都市公園	3.7 ㎡/人	4.0㎡/人	12.4㎡/人
都市公園等	31.5 ㎡/人	32.5㎡/人	35.6㎡/人

# ＝緑地の配置方針及び都市緑化に関する計画（素案）＝

## 【配置方針のイメージ】



# 二環境保全システムの配置方針及び配置計画（素案） 二

## 配 置 方 針

（対象項目）

庄内川、新川及び五条川

市内に点在する社寺林等

清洲城跡一帯や史跡貝殻山貝塚

街区公園・景観に配慮した民間緑地・児童遊園等

市街化調整区域に広がる一団の農地  
市街化区域内の生産緑地

街路樹等による道路緑化

（方針）

公共施設緑地（一部都市緑地として整備、五条川は、ふるさとの川整備計画を推

民間施設緑地として配置

環境保全システムネットワークの拠点施設として配置

環境保全システム緑地として配置（児童遊園・小規模な街区公園の緑化推進）

地域制緑地として保全

河川等の基幹緑地とのネットワーク形成

＝配置計画＝

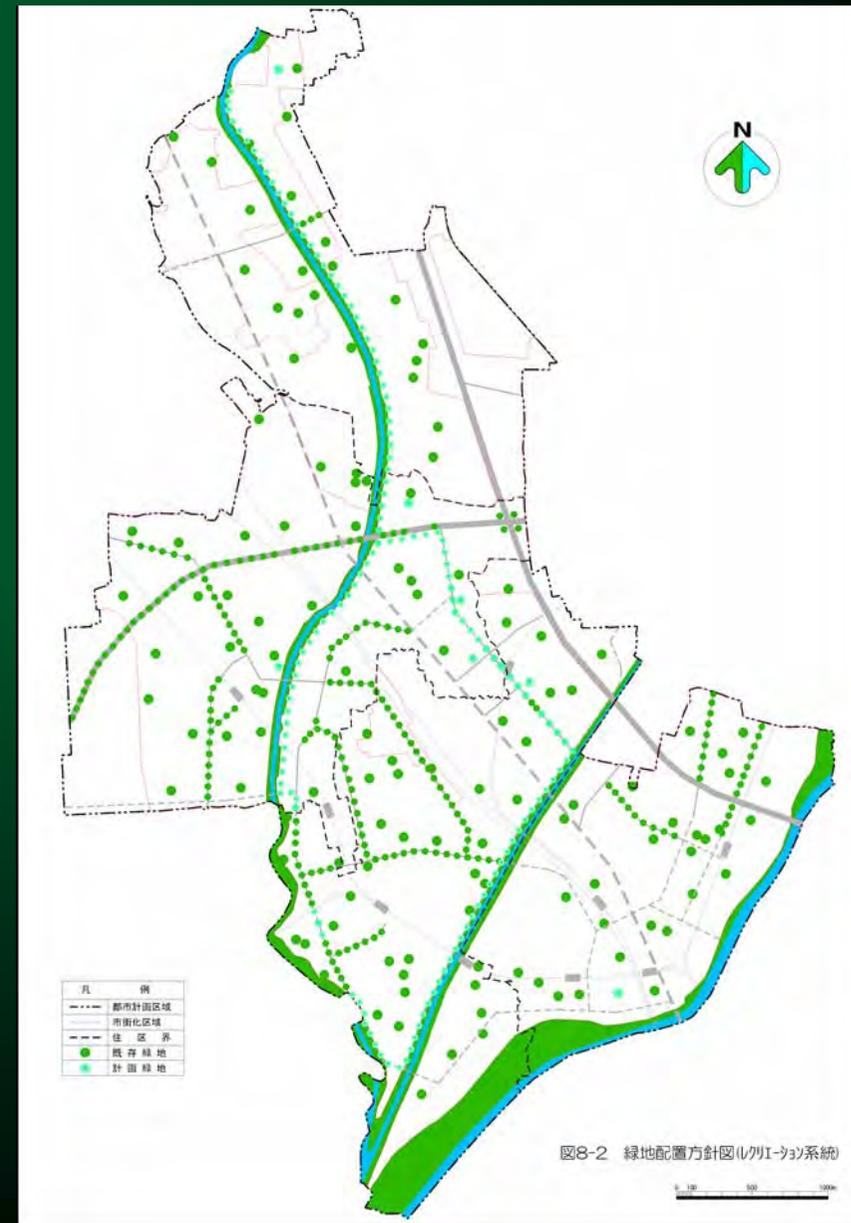
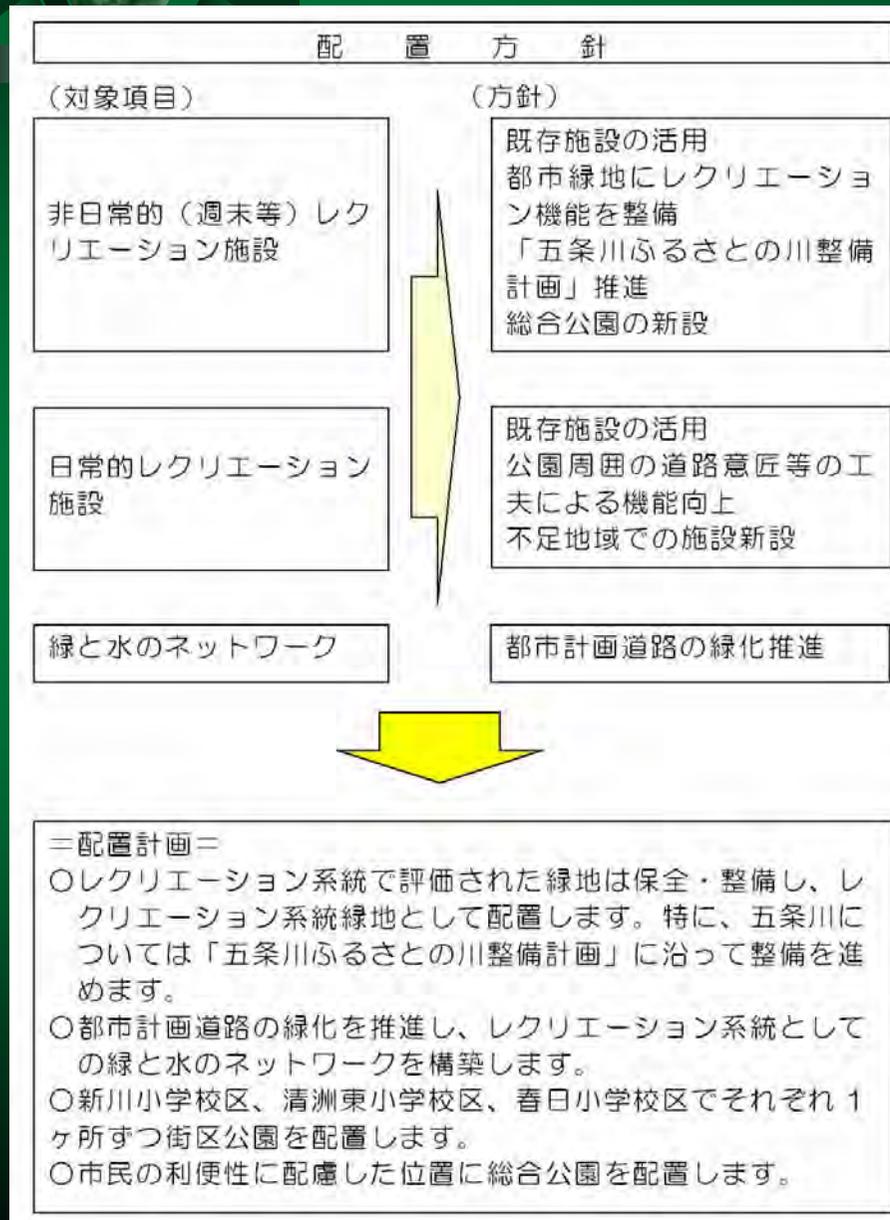
○環境保全システムで評価された緑地は保全・整備し、環境保全システム緑地として配置します。

○緑のネットワークを形成する未整備都市計画道路については、街路樹等による緑化を推進し、環境保全システム緑地として配置します。

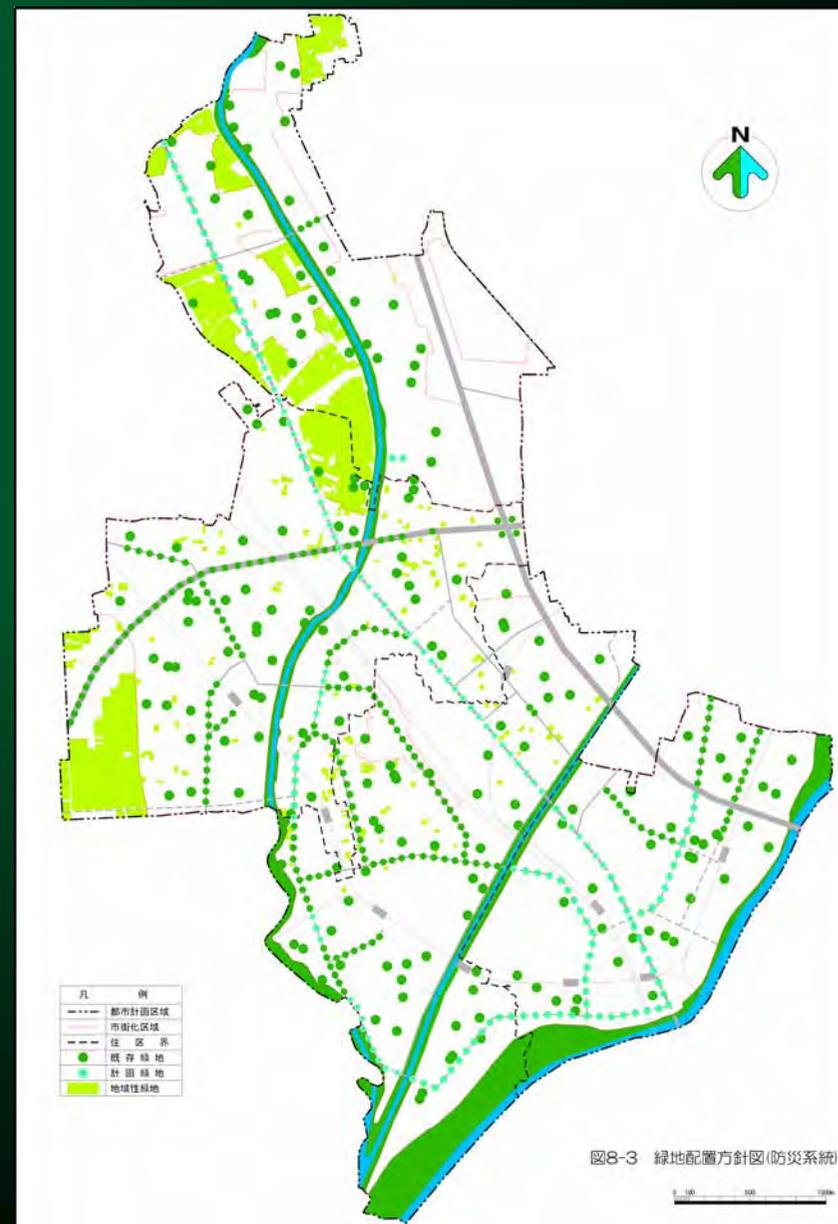
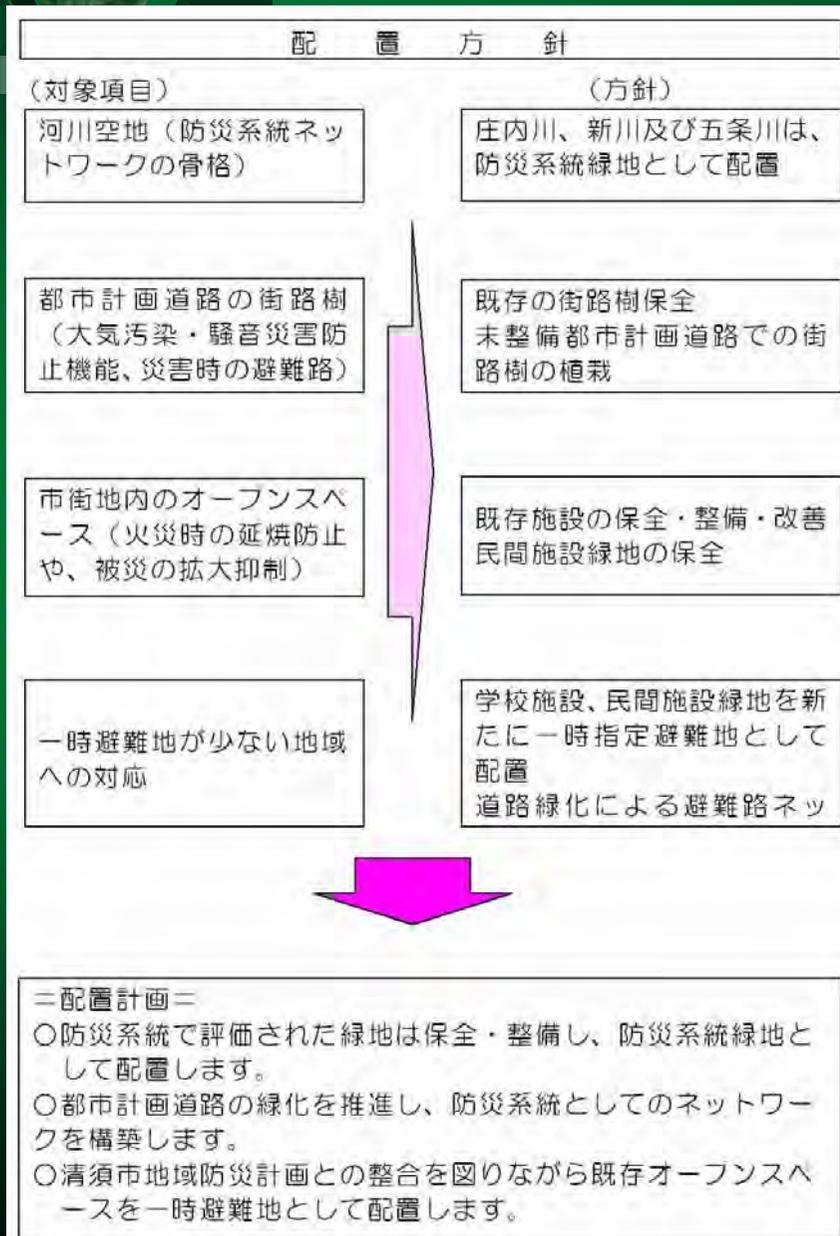


図8-1 緑地配置方針図(環境保全システム)

# レクリエーションシステムの配置方針及び配置計画（素案）



# ＝防災システムの配置方針及び配置計画（素案）＝



# 二 景観システムの配置方針及び配置計画（素案） 二

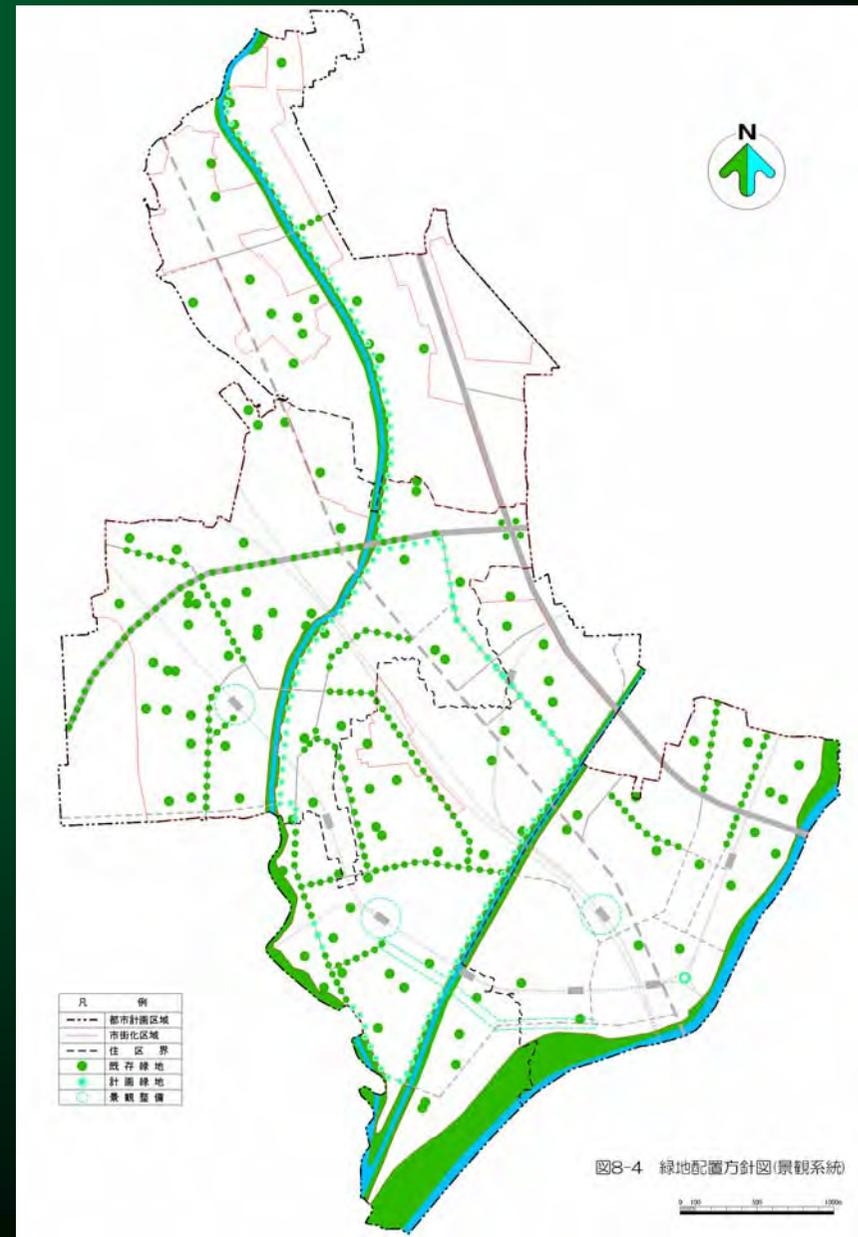
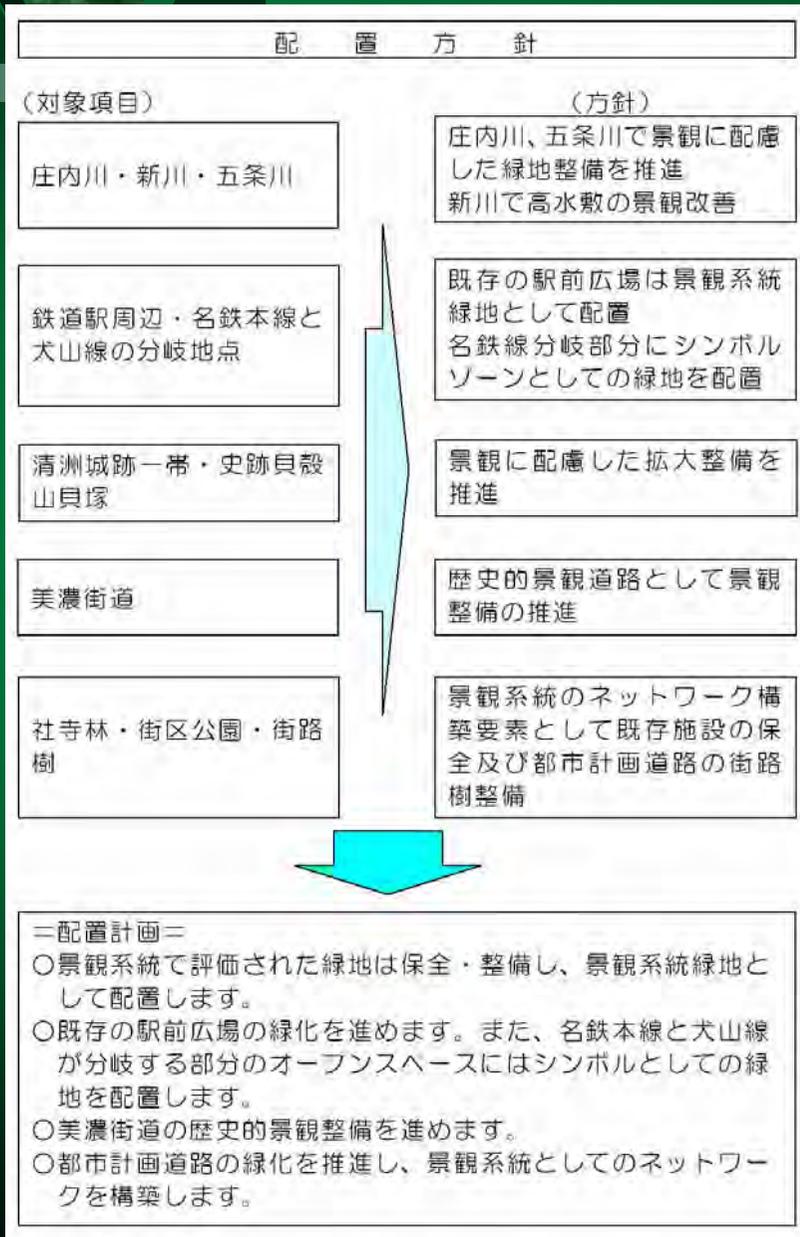
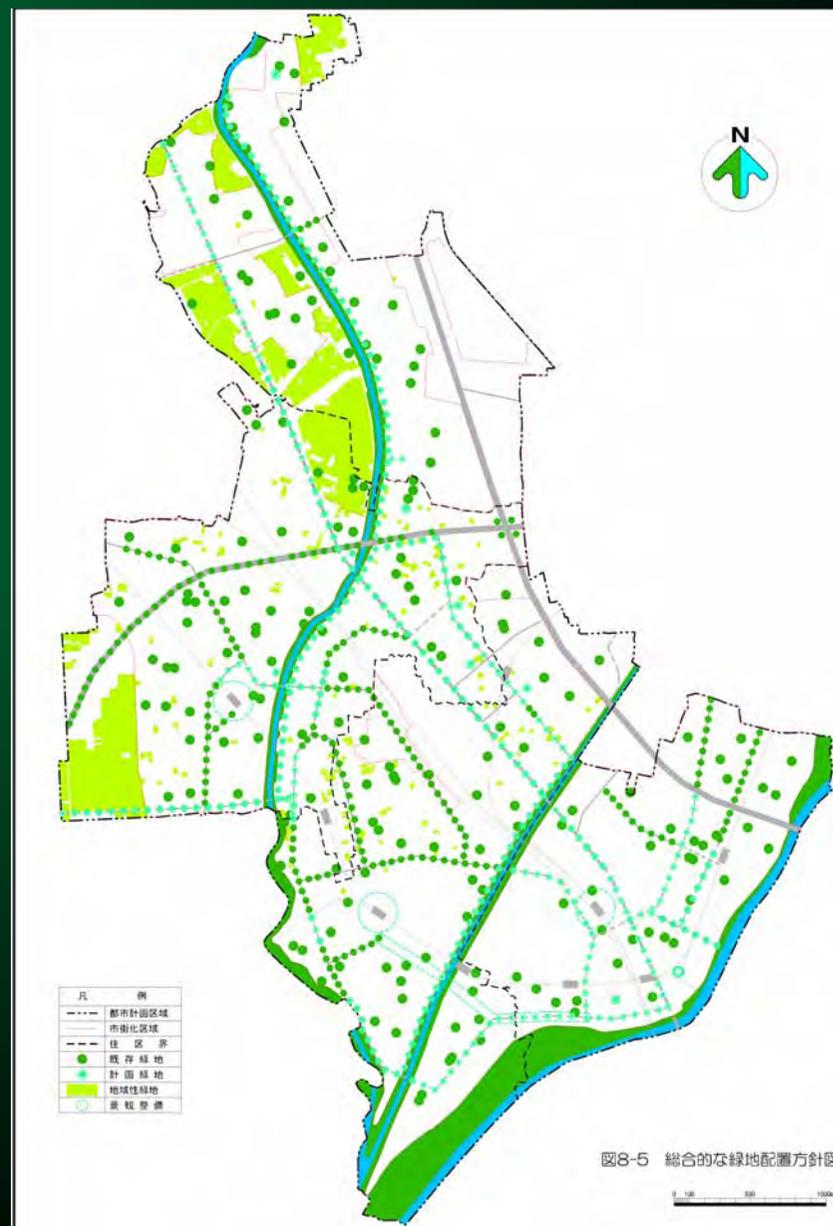


図8-4 緑地配置方針図(景観システム)

## ＝総合的な緑地の配置方針及び配置計画（素案）＝

系統別の配置方針及び配置計画で挙げられた緑地について全て配置計画に取り込むこととし、**複数の系統において配置された緑地**についてはそれぞれの系統において効果を発揮するよう保全・整備を進めるものとします





*END*